

知多の自然観察

2014(平26)年度

年報

海辺の生きもの観察会



自分たちでつかまえた本物から学ぶ

“本物と向き合う大切さ”

知多自然観察会

—愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部—

はじめに

今年度も身近な所に特徴、特色がある、海・川・社叢・公園等、自然豊かな観察環境場所が存在する、当地の観察会に知多半島5市5町はじめ名古屋市等、近郷にお住まいの、自然の大好きな、自然保護に活動に感心のある方々のご参加を頂きまして実施された。この年報「知多の自然観察」2014「平 26」年度版は当観察会の各地域で開催された自然観察会記録と当会の活動内容を掲載いたしています。年報に記載されていない観察会記録はホームページの知多自然観察会から検索して下さい幸いです。

さてこの1年を顧みますと、重大な自然災害が「平成 26 年 8 月豪雨」と命名された、福岡県～秋田県の6県に関わる豪雨と8月20日未明に発生した「広島土砂災害」。9月27日には雄大で、歴史ある信仰の山で多くの登山者・観光客に親しまれた御嶽山の大噴火による天災による自然災害が奇しくも発生した。前者は人災であり、日本国土をはじめとし地球上で重大な自然災害が発生いたしました。原因は地球温暖化等による異常気象であります。

ところで地球温暖化による異常気象や有用資源の枯渇などから地球環境が無尽蔵で無限でないことは明白です。また再生可能な資源を生かした資源開発は現実的でなく、不可能でありますから、開発か環境か二者拓一でなく、適正な（バランスの取れた）開発が望まれる中「将来のニーズを充たしつつ、現在の世代のニーズをも満足される開発」という意味を持つ「持続可能な開発（発展）」思考が提案されています。こうした開発が実現されているのが「持続可能な社会」となります。

上記の地球温暖化による異常気象や地球環境や目に見えない自然破壊を少しでも阻止しようと生物多様性、自然保護、環境保全に向けての観察会を（自然観察環境教室と呼びたい）効果的にする為に担当地域外の観察会、県協議会等の研修会に参加されて、自己研鑽されることをお願いします。特に思いますのは、親子を対象とした観察会で子供の目線での本物の自然観察です。子供は本来自然が大好きで、適正な年齢に合わせて、その潜在能力を伸ばしてあげる事と自然環境の大切さを伝えることが重要であり私達、指導員の役割ではないかと思えます。

所詮人間は自然に生かされている生物でありますと同時に、生物の頂点であり生態系自然環境活動をコントロールのできるのが人間であります。一人ひとりが身近な事から出来る、地球にやさしい生活をして「人と自然の共生」に向けた行動を今から、即、実践して行く事が大切です。「自然に学び」「自然を親しみ」「自然を守る」の自然保護活動の原点を再認識して、矻矻と地道に持続可能な活動していく事が大切であると考えています。

知多自然観察会代表 南川 陸夫

目 次

	頁
はじめに	
1 目 次	2
2 編集について	3
3 知多自然観察会について	
・概 要	4
・会 則	5
・総会報告書 (2014. 2. 9 開催のもの)	6
4 2014年の事業計画 (会員用)	9
5 支部担当の事業	14
○具体例 (抽出)	
・持ち寄り会 15～16	
・宿泊研修-夜叉ヶ池 17	
・紀北 22～23	
・県民センター観察会 (川) 18～19	
・みどりの少年団交歓会 20～21	
6 ブロック主催の観察会	24
○具体例 (抽出)	
・阿久比 26～29	
・常滑 30～32	
・知多 33	
・東浦 34～36	
・半 田 37	
・美浜 38～39	
・武豊 40～44	
7 受託観察会 I	45
○具体例 (抽出)	
・常滑 48～49	
・大府 50～52	
・知多 53～55	
・東浦 56～57	
・東海 58～59	
・半田 60～61	
・美浜 62～63	
8 受託観察会 II	64
○具体例 (抽出)	
・瑞稜高校(海岸) 65	
・師崎小学校(海岸) 66	
・寺本台子ども会(川) 67	
・東山保育園(公園) 68	
9 調査活動 (緑陽公園の昆虫)	69
・趣旨および概要 69	
・調査結果一覧 70～71	
10 掲 示 板 (会員の投稿記事)	72
11 発表の場 (会員の投稿記事)	76
○具体例 (抽出)	
・コウノトリが飛来 76～77	
・カメの皮をめくる 78	
・枝に付きすぎの松ぼっくり 79～81	
編集後記	82

【編集について】

知多自然観察会HPのURL

<http://chitakan.com/>

この「2014年度年報」は2014年1月～12月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

従って、掲載の活動例などはホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと掲載写真の多いページは2, 3ページどころか10ページ以上になるものもありますので、ここでは、すべて、最初の1ページに程よく収まる程度の分だけを印刷し掲載しました(95%～85%縮小印刷です)。そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

以下は知多自然観察会HPのトップページです。

2001.7.26 開設

196140

Google 検索

WWW を検索 知多自然観察会内 を検索

自然観察会

自然を皆様と観じます。
自然を皆様と学びます
自然を皆様と大切にします
自然を観察して仲間をつくります

観察会へ参加される方はここをご覧下さい => [観察時のお願い \(←クリック\)](#)

2014年度
↓
臨時の観察会：年度の途中で依頼を受け実施します (一般の参加はできません)
↓

観察会の予定 (記録も含む)	臨時の観察会 (記録が中心)	過去の観察会 (記録も含む)	掲示板 意見交換・(-)v	会員個人の発表	調査活動
研修・旅行等	当会の案内 入会の条件	問合せ先 入会申込書	リンク	会員専用	会則 役員一覧

自然の楽しさを 自然の大切さを みんなに
わたくしたちはこんな活動(←クリック)をしています

Copyright (C) Chita Shizen Kansatsukai. All Rights Reserved.
サイトに掲載の記事・写真などを利用する時は連絡してください。

※2014. 12. 31 現在のトップページ

本会の概要

1. 名称等

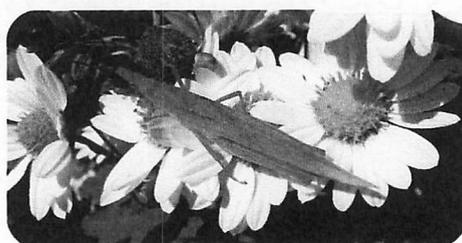
- ・会の名称 知多自然観察会 (愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部)
- ・設立年月 1982年5月
知多地方自然観察研究会の名称で発足(会員8名で発足)
- ・周年記念 1192.6 発足10周年記念大会開催(半田市勤労会館)
2002.5 20周年 (知多市地域文化センター)
2012.11 30周年 (")
- ・会則制定 2006.2.19 総会で承認
- ・総会 原則、毎年2月に開催
- ・事業年度 4月から翌年3月。ただし、会計年度は1月から12月
- ・会員 90名(2014.7.20現在)
- ・役員 15名(顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役)
- ・ブロック 8ブロック(阿久比、常滑、大府、知多、東浦、半田、美浜、武豊)
- ・年会費 1,000円

2. 自然観察会の実施実施状況(2014年1月~12月)

- ・自然観察会 本会主催観察会(ブロック主催の観察会)…37回
受託観察会Ⅰ(前年度に予約済の観察会)…73回
受託観察会Ⅱ(年度途中に要請の観察会)…約20回
- ・観察会の場所 公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
- ・一般参加者数 少ないとき…0~1家族(2,3名) 多いとき…数十名
当日指導員…2~10数名(特別な場合は20数名)
- ・雨天の場合 雨天は原則中止。ただし、担当指導員およびほかの指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

3. 観察会の様子 原則、土曜または日曜 9:30~11:30

- ・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
- ・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝(小川)があればタモを入れたりする
- ・海岸… " から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
- ・川… " から川へ移動。ハシゴで昇降する。夏はテントも必要
- ・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
- ・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
- ・夜…日没頃に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする



知多自然観察会 会則

- (名称) 第1条 本会は知多自然観察会と称する。
- (目的) 第2条 自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
- (事業) 第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
- (会員) 第4条 自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。
- (会費) 第5条 会員は毎年5月末日までに会費を納入しなければならない。
- (退会) 第6条 退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。
2. 会費未納の者はその資格を失う。
- (役員) 第7条 本会には次の役員をおく。
顧問 若干名
代表 1名
副代表 若干名
世話役 市、町からの代表
庶務 1名
会計 1名
会計監査 2名
- (役員の任期) 第8条 任期は一年とするが再任を妨げない。
- (役員の選出) 第9条 代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。
- (役員の補充) 第10条 役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
- (総会) 第11条 本会は毎年1回、原則2月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。
- (役員会) 第12条 総会に代わる決議機関とする
- (会計年度) 第13条 会計年度は毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
- (役員の補充) 第14条 会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
- (内規) 第15条 本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。
- (附則) 1 この会則は平成26年2月9日より実施する。
2 本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。
* 附則の1の年月日は総会で変更があつた場合、その総会の実施日が記される。
- (覚え) 1 この会則の最初の制定日は平成18年2月19日である
(当日の総会で承認された)
2 平成19年2月19日の総会で7条を次のように変更した。
・世話役「市町代表…10名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更
・会計監査「1名」を上記条文の2名に変更
3 平成23年2月13日の総会で7条を次のように変更した。
・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更

知多自然観察会 2014 年 総会議事録

【日 時】2014 年(平成 26 年)2 月 9 日 (日曜) 9 時 40 分～11 時 35 分

【場 所】阿久比町勤労福祉センター[エスペランス丸山]

【出席者】(名古屋、長久手)浅井一、浅井聡、大矢晃、大矢美 (東海)岩崎、平松俊 (知多)沖田、神野、平田、南川、山田絹、山本、吉川勉、吉房 (東浦)岩本、桑原、竹内秀、水野恭、山田公 (阿久比)平松裕、宮内 (常滑)中井三、降幡、森田琢 (半田)加藤、榊原正、山田和 (武豊)畠、原 (美浜)永田孝、永田寛、以上 31 名。 『欠席委任状 44 通を加え、当該総会は成立』

1. 開会のことば…… (副代表：榊原正)

昨年他界された会員のご冥福を祈り全員で黙祷。その後、開会を宣言。

2. 代表あいさつ…… (代表：南川)

会員の日頃の理解と協力があり、観察会を中心とした活動を通じ、13 年度も当会の目的をとげた。

3. 出席者自己紹介… (全員)

次代を担う新会員を拍手で激励した。

4. 議長、書記の選出

議長 (吉房 瞳)、書記 (竹内秀) 氏を選出。

5. 議事=2013 年度事業報告

(1) 主な事業の報告

1) 事業全般に関する報告… (平田)

2013 年報[P11～15]参照、以下同。

*全行事は 135 回。内訳は当会主催観察会 40 回、受託受募観察会 71 回、研修 7 回、協力 1 回、打合 16 回、うち役員会 7 回 (打合には、みどりの少年・県民センター下見を含む)。

2) 各ブロックの活動報告

各ブロック代表(世話役)が活動報告を行った。詳細略。

東海[P35]…… (平松俊)	大府[P16, 33]… (庶務)	知多[P16, 34]… (吉房)
東浦[P16, 35]… (竹内秀)	阿久比[P16]… (平松裕)	常滑[P16, 33]… (中井三)
半田[P17, 35]… (榊原正)	武豊[P17]…… (畠)	美浜[P17, 35]… (永田孝)

3) 受託観察会に関する報告… (南川)

受託観察会-I および II について報告した。詳細略。[P33, 56]

4) 研修旅行に関する報告

降幡顧問が 5 月の津具および 8 月の奥伊吹について報告した。

5) 持ち寄り会に関する報告… (平田)

2014 年 1 月の持ち寄り会について報告。

6) 調査活動の報告… (浅井一)

東浦・須賀川の生きものについて報告した。[P62]

「ネコギギが捕まった。侵入経路は不明。下流ではコノシロの産卵も見られる。」

7) ホームページに関する報告[P65, 68]

*「掲示板」および「会員個人の発表」へ大いに投稿してほしい。… (榊原正)

*ホームページにアップする際は実名表記を避けてほしい。… (岩本)

8) 年報作成に関する報告[P76]

*年報担当独自の編集方針で制作・発行した。編集担当者の交代を望んでいる。… (榊原正)

(2) 一般会計報告… (森田琢)

〈資料-1〉について説明し、会計資料原本および通帳を会場で回覧した。

(3) 一般会計監査報告

山本会計監査が「正確で事実と相違なかった」と報告した。

(4) 委託金通帳管理報告… (南川)

〈資料-2〉について説明した。

(5) 特別会計報告・・(榑原正)

〈資料-3〉について説明した。

以上、すべての報告は出席者の拍手をもって承認された。

6. 議事=2014 年度事業計画

(1) 役員を選出

- 1) 代表に(南川陸夫)が再選された。(敬称略、以下同じ)
- 2) 会計監査に(畠烈)・(山本辰巳)が選出された。

◆南川代表あいさつ

- ①世代交代等をはかり、現職/現役の方が参加しやすい会にしたい。
- ②一般参加者の目線で、自然に親しみ、感動を覚える観察会にしたい。
- ③各観察会で自然から学ぶこと、生物多様性に繋がる活動をしていくことも大事だが、日常生活の中で自然保護、地球環境の保全、省エネに繋がるなどの持続可能な活動をして頂けるように参加者に呼びかけたい。

(2) 役員委嘱 会則9条の規定により、代表が下記の方に委嘱した。

- 1) 顧問 (降幡光宏) *原榑顧問は辞退された。
- 2) 副代表 (榑原正躬)・(榑原靖)
- 3) 庶務 (平田秀彦) =副代表兼務
- 4) 会計 (森田琢磨)

(3) 世話役(ブロック代表)・副世話役(ブロック副代表)の選出

東海・・(平松俊)(岩崎) 大府・・(村瀬)(大嶋) 知多・・(吉房)(平田)
東浦・・(竹内秀)(岩本) 阿久比・・(平松裕)(宮内) 常滑・・(中井三)(降幡)
半田・・(榑原靖)(榑原正) 武豊・・(畠)(鈴木樹) 美浜・・(永田孝)(永田寛)

(4) 各種担当の選出

年報(榑原正)、ホームページ(榑原正)、長期の企画や調査など(榑原靖)
調査活動(平松俊)、研修旅行(竹内秀)、持ち寄り会(榑原正)、年間計画(平田)

(5) 県協議会関係の担当者の選出

- ・理事/支部代表……(南川)
- ・理事/HP担当……(永田孝)
- ・理事/名簿管理……(森田琢)
- ・会計監査……(榑原靖)

(6) 主な事業計画

1) 支部全体の主な事業計画

次のことについて、庶務及び担当者が説明した。

- ①役員会 : 5月、6月、8月、11月、12月、12月、1月
- ②県民セ観察会 : 8月10日「海」、9月13日「川」、10月4日「公園」
- ③みどりの少年団 : 10月18日 (大府ブロックが担当)
- ④研修旅行 : 6月7~8日および10月25~26日
*行先、テーマを募ります。・・(竹内秀)
- ⑤調査活動 : 4月27日および10月11日
*東海市 緑陽公園の昆虫を中心に調査します。・・(平松俊)
- ⑥持ち寄り会 : 1月10日
*大勢の方が数多くの話題を持ち寄る情報交換の場としたい。・・(榑原正)
- ⑦総会 : 2月8日

- 2) 2014(H26)年度会員用年間予定-日付順-について
 *字句の訂正があれば(榊原正)へ速やかな連絡を。3月に改訂版を配付する。
 その後の変更は都度、庶務から配信する。..(榊原正)
 *鬼崎公民館の名称が「とこなめ市民交流センター」となる。印刷作業は可。..(中井三)
 *県民センター・海の観察会は「チッタナポリ」を検討中。..(南川)
- 3) 県協議会事業について (南川)が次のことについて説明した。
- ①あいちの自然観察 : 知多支部担当行事として8月23日の「須賀川……」をあてる。
 - ②交流研修会 : 知多支部は6月7~8日と10月25~26日の研修旅行を提案する。
 - ③外来種・移入種の学習会 : 4月29日、詳細未定
 - ④フォローアップ研修会 : 9月6~7日、庄内緑地グリーンプラザで。
 テーマは「魚類の絶滅危惧種・外来種・移入種」を予定。
 - ⑤生物分類の講演会 : 10月13日、詳細未定。
 - ⑥協議会交流の日 : 11月24日、詳細未定。
 - ⑦H27年 通常総会・講演会 : 3月21日。
 - ⑧指導員講習会 : 愛知県内では今年度、開催の予定はありません。
- (6) 2014年度 自然観察会活動に係る事業会計 収支予算書..(森田琢) 会計
 <資料-4>について説明し、予算は原案通り決定された。
- (7) 会則の改正..(平田)
 <資料-5>について説明し、原案通り決定された。
- (8) その他/報告等
- 1) 会員名簿について..(平田)
 *住所変更等は都度、庶務宛て連絡を。
 - 2) 観察会時の傷害保険について..(南川)
 <資料-6>について、詳しく説明し、周知をはかった。詳細略。
 *保険の趣旨、保険金、時間帯、対象者、対象となる傷害、事故時の対応、等
 *病院の領収書が診療の証として使える。
 *子供に付き添って参加する高齢者の熱中症等も要注意。
 *参加者名簿の雛形を総会議事録に添付する。
 - 3) 観察会の運営について..(平田)
 <資料-7>の要点を説明した。
 *安全 *保険 *反省会と報告書 *HPへ写真掲載 *名札着用ほか
 *手書きの報告書は降幡顧問へ送ってください。
 - 4) 会員の動向..(平田)
 退会者: 今津久美夫、齊上伸一、宇野まどか、石川直樹、石原洋一、水野由美子
 (なお、青木、大川、大野、大橋の四氏から、本年3月退会の申し出があった。)
 入会者: 永田寛美、鈴木汎、桑村りん、水野恭志
 物故者: 加藤寿芽氏、蔦谷ふみ子氏
 - 5) その他
 本年3月の県協総会での記念講演は“いがりまさし”氏「日本のスマイル」..(浅井聡)

7. 議長、書記の解任

ここで、議長及び書記を解任。

8. 閉会のことば

本物に向き合う子供達の視線が一点に集まるような観察会を! (副代表: 榊原正)

以上

2014(H26)年（1月～12月）会員用事業計画

<テーマらんの主催者>

- ・セトナ→二ツ池セトナ ・知文セ→知多市地域文化センター
- ・阿中公→阿久比町中央公民館
- ・健康の森管理事務所→あいち健康の森公園管理事務所
- ・ふれあいの森→阿久比町ふれあいの森

No	年	月	日	曜	種	保	担	テーマ●印…申し込み先(電話番号は欄外を参照)	集合場所	担当指導員(問合せ先)
1	14	1	12	日	受託		大府	「森の研究室⑬野鳥の生態Ⅳ」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
2	14	1	12	日	研修		支部	「持ち寄り会発表パソコン研修」	阿久比町中央公民館9:30	榊原靖・榊原正
3	14	1	18	土	打合		支部	「役員会-総会次第・配付資料・役割分担の点検」	阿久比町中央公民館13:30	庶務
4	14	1	25	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察をする」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)吉房
5	14	1	25	土	受託		東海	「身近な野鳥を観察しよう」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園動植物資料館9:30	岩崎(052-601-5504)神野
6	14	1	26	日	募	協	阿久	「朽木の虫を観察しよう」	阿久比エスペランス丸山P9:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
7	14	1	26	日	募	協	常滑	「冬の鳥を見よう」	常滑市松原公園東P9:00	中井三(0569-42-2021)斉上
8	14	1	26	日	募	協	武豊	「ワシタカ類のミサゴやチドリなど海岸の鳥たちを見よう」	名鉄河和口駅前海岸P9:30	古川(0569-73-6078)鈴木
9	14	2	1	土	打合		支部	「総会配布資料の印刷等」	常滑市鬼崎公民館9:30	庶務
10	14	2	1	土	受募		知多	「雑木林の中にある朽木や落ち葉に生活する生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	神野(0562-34-3964)山田絹
11	14	2	2	日	受託		大府	「森の研究室⑭野鳥の生態Ⅴ」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
12	14	2	8	土	受託		知多	「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察をする」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	神野(0562-34-3964)吉房
13	14	2	9	日	打合		支部	「総会」12時00分まで	エスペランス丸山9:30	庶務
14	14	2	16	日	募	協	美浜	「岩石や地層の観察と化石探し」	聖崎公園P9:30	河原(0569-82-2307)永田
15	14	2	22	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦町高根の森P9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
16	14	2	22	土	受託		半田	「任坊山の冬-朽ち木の中の生き物」●半田市環境課	任坊山公園P9:30	山田和(0569-22-4660)榊原正
17	14	2	23	日	受託		大府	「森の研究室⑮朽木にすむ虫たち」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
18	14	3	9	日	受託		大府	「森の研究室⑯野鳥の生態Ⅵ」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
19	14	3	9	日	受募	協	美浜	「冬鳥と旅鳥カワウの子育観察」●美浜町環境保全課	美浜町体育館正面玄関9:30	岩井(0569-87-5661)神谷
20	14	3	16	日	受募		常滑	「朽木の生き物を探そう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P9:30	森田琢(0569-42-1708)小島
21	14	3	21	金	打合		県協	「県協議会総会」支部役員と市町ごとに2名以上の出席を	日本特殊陶業市民会館13:30	支部の役員は出席を
22	14	4	5	土	受募		東浦	「春の野山を見よう」●東浦町環境課	東浦高校正門前 9:30	岩本(0569-58-0952)竹内秀
23	14	4	6	日	募	協	武豊	「息吹いっぱい春の野山探検」	別曾池公園駐車場9:30	古川(0569-73-6078)畑中

24	14	4	13	日	受託	大府	「セレクトナ森の研究室①植物おもしろ講座」●セレクトナ	セレクトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
25	14	4	13	日	募協	阿久	「植物野鳥虫たちの躍動を感じよう」	エスペランス丸山P9:30	牧野(090-9222-0109)平松裕
26	14	4	19	土	協力	東浦	「自然物で工作」(於大まつりに出店)●東浦町	このはな館9:00～出店準備	竹内秀(0562-83-9023)
27	14	4	19	土	受募	知多	「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	梅の館9:30	金内(0562-55-8614)吉房
28	14	4	20	日	受募	常滑	「春の花を訪れる虫たち」●大曾公園事務所	大曾公園P9:30	中井三(0569-42-2021)平松俊
29	14	4	24	木	打合	支部	「県民セ観察会について」県民セ環境保全課と打合せ	県民センター13:30	庶務
30	14	4	26	土	募協	東浦	「竹の芽吹きを観察しよう」	自然環境学習の森P9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
31	14	4	26	土	募協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P9:30	榊原正(0569-21-7000)石川
32	14	4	27	日	研修	支部	「調査活動-緑陽公園の生きもの①」	東海市緑陽公園P13:30	平松俊
33	14	5	10	土	受託	知多	「春の野草と虫さん」●地域文化センター	地文セ9:30	霜鳥(0562-55-1620)吉川勉
34	14	5	10	土	打合	支部	「第1回役員会」県民セ観察会について	エスペランス丸山13:30	庶務
35	14	5	11	日	受託	大府	「セレクトナ森の研究室②野鳥おもしろ生態I」●セレクトナ	セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
36	14	5	17	土	受募	東浦	「閃光するヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
37	14	5	17	土	受託	知多	「企業緑地の生き物①」●知多市環境政策課	東邦ガス緑浜工場9:30	中井康(0569-43-0884)南川
38	14	5	18	日	募協	武豊	「元気いっぱい初夏の生きものに会おう」	長成池公園駐車場9:30	原(0569-72-2377)伊藤伸
39	14	5	18	日	受託	大府	「セレクトナ森の研究室③昆虫おもしろ講座I」●セレクトナ	セレクトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
40	14	5	18	日	募協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリユーP9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
41	14	5	24	土	受募	美浜	「山で発見ヒメボタル」●美浜町環境保全課	美浜町時志観音P21:30	百合草(0569-82-2354)永田寛
42	14	5	24	土	受託	東海	「ヒメボタルを見よう」●東海市施設管理協会参加料100円	上野台公園P21:30	早川(052-602-2992)岩崎
43	14	5	25	日	受託	大府	「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
44	14	5	28	水	募協	美浜	「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P15:00	大矢晃(052-841-6048)大矢美
45	14	5	31	土	募協	阿久	「春の阿久比板山湿地周辺の観察」※人数制限有	ふれあいの森P9:30	宮内(0569-48-6199)伊藤祐
46	14	5	31	土	募協	常滑	「愛知用水の食虫植物を見よう」	常滑市南陵公民館P9:30	中井三(0569-42-2021)森田琢
47	14	6	1	日	受託	大府	「虫花樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森管理事務所9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
48	14	6	7	土	研修	支部	「宿泊研修-夜叉が池・池ヶ原湿原方面の自然」	大池公園コートP7:00	竹内秀-牧野-山田絹-浅井一
49	14	6	8	日	〃	〃	同上(二日目)	大池公園コートP解散	同上
50	14	6	13	金	受託	知多	「灯火に集まる虫とホタルの観察」●地域文化センター	旭公園北P19:00	平田(0562-55-9696)大川
51	14	6	14	土	受募	東浦	「明德寺川の中をのぞこう」●東浦町環境課	うのはな館P9:30	田中央(0562-34-6040)山田公

52	14	6	14	土	受募協	美浜課	「海辺の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町富具崎港P9:30	森田博(0569-87-0725)森田琢
53	14	6	14	土	受託	半田環境課	「亀崎海岸の生き物観察」●半田市環境課 参加料100円	亀崎海浜緑地P9:30	山田和(0569-22-4660)加藤美
54	14	6	14	土	募協	武豊	「今年はいろぞホテルに会おう」	市原農村広場P19:00	島(0569-73-3518)鈴木樹
55	14	6	15	日	募協	阿久常滑	「福山川の生き物は今年も元気かな」	阿久比町板山公民館前9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
56	14	6	15	日	募協	常滑	「海岸の生き物を見つけよう」中潮(干潮13:27)	常滑市蒲池漁港P10:30	森田琢(0569-42-1708)中井康
57	14	6	20	金	受募	知多	「佐布里のヘイケボタルの観察①」●梅の館	梅の館19:30	小島(0569-42-4537)吉房
58	14	6	21	土	打合	支部	「第2回役員会」県民セ観察会について	阿中公13:30	庶務
59	14	6	21	土	受募	知多	「佐布里のヘイケボタルの観察②」●梅の館	梅の館19:30	平田(0562-55-9696)吉房
60	14	6	22	日	受託	大府	「セレトナ森の研究室④キノコ探検隊Ⅰ」●セレトナ	セレトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
61	14	6	22	日	受募	常滑	「雨上がりのキノコ」●大曾公園事務所	大曾公園P9:30	降幡(0569-43-8060)中井三
62	14	6	25	水	募協	美浜	「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P14:45	大矢晃(052-841-6048)大矢美
63	14	6	28	土	受託	知多	「海辺の生き物を観察しよう」●地域文化センター	新舞子海岸WC隣P9:30	森田博(0569-87-0275)平田
64	14	7	5	土	受募	東浦	「初夏の生き物」●東浦町環境課	自然環境学習の森P9:30	水野恭(080-3648-4467)桑原
65	14	7	5	土	受託	東海	「オオケマイマイを見よう」●東海市施設管理協会参加料100円	しあわせ村玄関前9:30	原(0569-72-2377)吉川洋
66	14	7	6	日	募協	武豊	「新川の生きものを探ってみよう」	福寿園西500m新川沿い9:30	原(0569)72-2377 金内
67	14	7	6	日	募協	常滑	「水田と畑の良い虫悪い虫の観察」	常滑市南陵公民館P9:30	降幡(0569-43-8060)竹内匡
68	14	7	12	土	受募協	美浜課	「干潟の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町奥田農協P9:30	森田博(0569-87-0725)森田琢
69	14	7	18	金	募協	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P19:00	春日(0562-84-2086)水野利
70	14	7	19	土	打合	支部	「県民セ観察会について」担当者打合せ	阿中公13:30	庶務
71	14	7	19	土	受託	半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課 参加料100円	旧市営プールP19:00	榊原靖(0569-21-3497)山田和
72	14	7	20	日	受託	大府	「虫花樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
73	14	7	25	金	受託	大府	「セレトナ森の研究室⑤灯火に集まる虫さん」●セレトナ	セレトナ19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
74	14	7	26	土	受託	大府	「境川の観察と水質調査」●大府市神田公民館・環境課	大府市神田公民館9:30	門脇(0562-46-6807)浅井
75	14	7	26	土	募協	美浜	「ウミホテルの発光を見よう」	聖崎公園P18:45	大矢晃(052-841-6048)大矢美
76	14	7	26	土	受託	東海	「竹を使って遊ぼう」●東海市施設管理協会参加料100円	大池公園多目的室9:30	山本辰(0562-56-3952)平田
77	14	7	27	日	募協	常滑	「前山川の小さな生き物を見よう」	常滑市青海公民館P9:30	浅井一(090-3387-8007)金内
78	14	7	27	日	打合	支部	「県民センター観察会」海の下見(チッタナポリ海岸)	チッタナポリP13:30	森田琢(0569-42-1708)
79	14	8	1	金	受託	知多	「企業緑地の生き物②」●知多市環境政策課	JX日鉱日石エネ9:30	南川(0569-42-5382)沖田

80	14	8	2	土	受託	半田	「稗田川平地川の生き物観察」●半田市環境課 参加料100円	乙川東小学校P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
81	14	8	3	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑥昆虫おもしろ講座Ⅱ」●セトナ	セトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)門脇
82	14	8	3	日	受募	常滑	「ミツバチ牧場で蜂蜜絞り」●大曾公園事務所500円/家族	大曾公園P9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
83	14	8	8	金	募 協	阿久	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」	ふれあいの森P 19:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
84	14	8	9	土	打合	支部	「第3回役員会」	阿中公13:30	庶務
85	14	8	10	日	受託	支部	「県民センター観察会」海の本番 ※台風接近で中止	チッタナポリP 8:30	森田琢(0569-42-1708)
86	14	8	17	日	受託	大府	「夏のいきもの」●大府市環境課	健康の森管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
87	14	8	20	水	打合	支部	「みどりの少年関係者打合」県林務課大府市他関係者	セトナ13:30	村瀬
88	14	8	23	土	募 協	東浦	「須賀川の中をのぞこう」※「県民センター観察会」海の代行	南部ふれあいセンターP9:30	水野恭(080-3648-4467)桑原
89	14	8	23	土	募 協	武豊	「灯火に集まる虫を見よう」	老人福祉センター駐車場18:30	畠(0569-73-3518)平松俊
90	14	8	24	日	受託	半田	「矢勝川の生き物観察」●半田市環境課 参加料100円	修農公民館9:30	榊原靖(0569-21-3497)鈴木汎
91	14	8	30	土	打合	支部	「県民センター観察会」川の下見(東浦-明德寺川)	東浦町文化センター13:30	水野恭(080-3648-4467)
92	14	9	5	金	募 協	常滑	「灯火に集まる虫と鳴く虫の観察」	常滑市多賀神社P19:00	降幡(0569-43-8060)平松俊
93	14	9	6	土	受募 協	美浜	「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	美浜町布土公民館P9:30	斉藤(0569-82-3922)榊原靖
94	14	9	6	土	受託	知多	「水田や水路の生き物を観察」●地域文化センター	地文セ9:30	吉川勉(0569-43-1501)小島
95	14	9	13	土	受託	支部	「県民センター観察会」川の本番(東浦-明德寺川)	東浦町文化センター8:30	水野恭(080-3648-4467)
96	14	9	14	日	募 協	武豊	「実り近し秋の野山探検」	別曾池公園駐車場9:30	鈴木樹(0569)72-1393畠
97	14	9	14	日	受託	大府	「石ヶ瀬川の生き物調査と水質検査」●大府市環境課	石ヶ瀬児童老人福祉センター9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇浅井
98	14	9	27	土	受託	知多	「企業緑地の生き物③」●知多市環境政策課	LIXIL知多営業所9:30	中井康(0569-43-0884)吉房
99	14	9	27	土	募 協	阿久	「秋の阿久比板山湿地を観察しよう」※人数制限有	ふれあいの森P 9:30	宮内(0569-48-6199)澁谷
100	14	9	27	土	受託	大府	「セトナ森の研究室⑦秋の夜の虫たち」●セトナ	セトナ17:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
101	14	9	28	日	受託	大府	「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	みどり公園事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
102	14	10	5	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑧キノコ探検隊Ⅱ」●セトナ	セトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
103	14	10	5	日	打合	支部	「みどりの少年団交歓会」下見	セトナ13:30	村瀬
104	14	10	11	土	受募	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」●東浦町環境課	高根の森P9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡
105	14	10	11	土	研修	支部	「調査活動-緑陽公園の生きもの②」	東海市緑陽公園P13:30	平松俊
106	14	10	12	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑨どんぐりを知ろう！」●セトナ	セトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)門脇
107	14	10	12	日	受募	常滑	「秋の虫を観察しよう」●大曾公園事務所	大曾公園P9:30	森田琢(0569-42-1708)平松俊

108	14	10	12	日	受託	東海	「公園のキノコ」●東海市施設管理協会参加料100円	大池公園多目的室9:30	吉房(0569-43-8060)村瀬
109	14	10	13	祝	募	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P9:30	石川(0569-23-1101)加藤美
110	14	10	18	土	受託	支部	「みどりの少年団交歓会」本番	セトナ8:30	村瀬
111	14	10	19	日	募	武豊	「木の実や枝自然物で工作しよう」	老人福祉センター駐車場9:30	原(0569)72-2377 畑中
112	14	10	19	日	受託	大府	「虫花樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
113	14	10	19	日	募	東浦	「秋の森を探検しよう」→飛山池	東浦高校正門前9:30	竹内秀(0562-83-9023)岩本
114	14	10	19	日	受託	知多	「身近にあるキノコ」●地域文化センター	旭公園北P9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
115	14	10	25	土	研修	支部	「宿泊研修-熊野古道馬越峠と周辺の海岸の自然」	大池公園P7:00	竹内秀-牧野-山田絹-浅井一
116	14	10	26	日	〃	〃	「 同上二日目 」	大池公園P解散	同上
117	14	11	1	土	受募	東浦	「森の宝物で工作」参加費100円●東浦町環境課	於大公園このはな館9:30	山田公(0562-83-3297)田中央
118	14	11	1	土	受託	東海	「森の宝物で工作」●東海市施設管理協会参加料100円	大池公園P9:30	平田(0562-55-9696)早川
119	14	11	1	土	募	半田	「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P9:30	榊原靖(0569-21-3497)山田和
120	14	11	2	日	協力	大府	「ミニ自然観察会」セトナフェスタで数回●セトナ	セトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
121	14	11	7	金	打合	支部	「第4回役員会」15年度支部行事計画(1回目)	知多市地域文化センター19:00	庶務
122	14	11	8	土	受募	知多	「木の実枝落ち葉で工作」●梅の館(※中止)	梅の館9:30	山本(0562-56-3952)山田絹
123	14	11	9	日	協力	常滑	「親子で遊ぼう-自然物で工作」(クラトコ)●大曾公園事務所	大曾公園9:00(開店10:00)	森田琢(0569-42-1708)中井三
124	14	11	16	日	募	武豊	「遙か渡って来た鳥たちを見よう」	野外活動センター南9:30	古川(0569-73-6078)伊藤伸
125	14	11	16	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑩野鳥おもしろ生態Ⅱ」●セトナ	セトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
126	14	11	22	土	受託	知多	「企業緑地の生き物④」●知多市環境政策課	中部電力火力発電所9:30	沖田(0562-55-7250)平田
127	14	11	23	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑪小枝工作リースなど」●セトナ	セトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
128	14	11	23	日	募	阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリューP9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
129	14	11	29	土	募	知多	「日長神社の紅葉と他の樹木を観察をしよう」	日長インター東広場9:30	細川(0569-43-3670)霜鳥
130	14	12	6	土	募	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正
131	14	12	7	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑫野鳥おもしろ生態Ⅲ」●セトナ	セトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
132	14	12	12	金	打合	支部	「第5回役員会」15年度支部行事計画打合せ(2回目)	エスペランス丸山19:00	庶務
133	14	12	20	土	打合	支部	「第6回役員会」総会次第ほか	エスペランス丸山13:30	庶務

2014(H26)年（1月～12月）支部担当の事業

No	年	月	日	曜	種	テーマ	集合場所	担当指導員
1	14	1	12	日	研修	「持ち寄り会発表パソコン研修」	阿久比町中央公民館9:30	榊原靖・榊原正
2	14	1	18	土	打合せ	「役員会-総会次第・配付資料・役割分担の点検」	阿久比町中央公民館13:30	庶務
3	14	2	1	土	打合せ	「総会配布資料の印刷等」	常滑市鬼崎公民館9:30	庶務
4	14	2	9	日	打合せ	「総会」12時00分まで	エスペランス丸山9:30	庶務
5	14	4	24	木	打合せ	「県民セ観察会について」県民セ環境保全課と打合せ	県民センター13:30	庶務
6	14	4	27	日	研修	「調査活動-緑陽公園の生きもの①」	東海市緑陽公園P13:30	平松俊
7	14	5	10	土	打合せ	「第1回役員会」県民セ観察会について	エスペランス丸山13:30	庶務
8	14	6	7	土	研修	「宿泊研修-夜叉が池・池ヶ原湿原方面の自然」	大池公園コートP7:00	竹内秀-牧野-山田絹-浅井一
9	14	6	8	日	研修	同上(二日目)	大池公園コートP解散	同上
10	14	6	21	土	打合せ	「第2回役員会」県民セ観察会について	阿中公13:30	庶務
11	14	7	19	土	打合せ	「県民セ観察会について」担当者打合せ	阿中公13:30	庶務
12	14	7	27	日	打合せ	「県民センター観察会」海の下見(チッタナポリ海岸)	チッタナポリP13:30	森田琢
13	14	8	9	土	打合せ	「第3回役員会」	阿中公13:30	庶務
14	14	8	10	日	受託	「県民センター観察会」海の本番 ※台風接近で中止	チッタナポリP8:30	森田琢
15	14	8	20	水	打合せ	「みどりの少年関係者打合せ」県林務課大府市他関係者	セレクトナ13:30	村瀬
16	14	8	30	土	打合せ	「県民センター観察会」川の下見(東浦-明德寺川)	東浦町文化センター13:30	水野恭
17	14	9	13	土	受託	「県民センター観察会」川の本番(東浦-明德寺川)	東浦町文化センター8:30	水野恭
18	14	10	5	日	打合せ	「みどりの少年団交歓会」下見	セレクトナ13:30	村瀬
19	14	10	11	土	研修	「調査活動-緑陽公園の生きもの②」	東海市緑陽公園P13:30	平松俊
20	14	10	18	土	受託	「みどりの少年団交歓会」本番	セレクトナ8:30	村瀬
21	14	10	25	土	研修	「宿泊研修-熊野古道馬越峠と周辺の海岸の自然」	大池公園P7:00	竹内秀-牧野-山田絹-浅井一
22	14	10	26	日	研修	「 同上二日目 」	大池公園P解散	同上
23	14	11	7	金	打合せ	「第4回役員会」15年度支部行事計画(1回目)	知多市地域文化センター19:00	庶務
24	14	12	12	金	打合せ	「第5回役員会」15年度支部行事計画打合せ(2回目)	エスペランス丸山19:00	庶務
25	14	12	20	土	打合せ	「第6回役員会」総会次第ほか	エスペランス丸山13:30	庶務

持ち寄り会

2014. 1. 12 実施

<参加者>

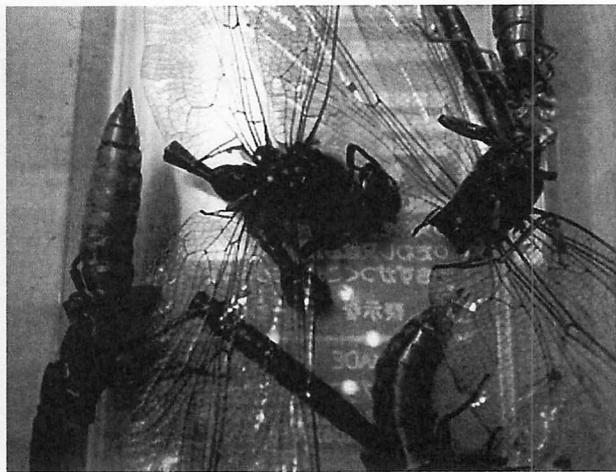
平田、榊原靖、平松俊、岩本、浅井一、降幡、森田琢、大野、山本辰、南川、榊原正、宮内、菊池、畠、牧野

<日 程>

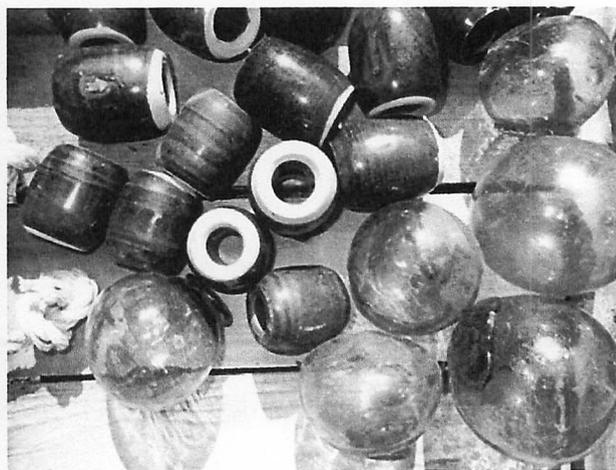
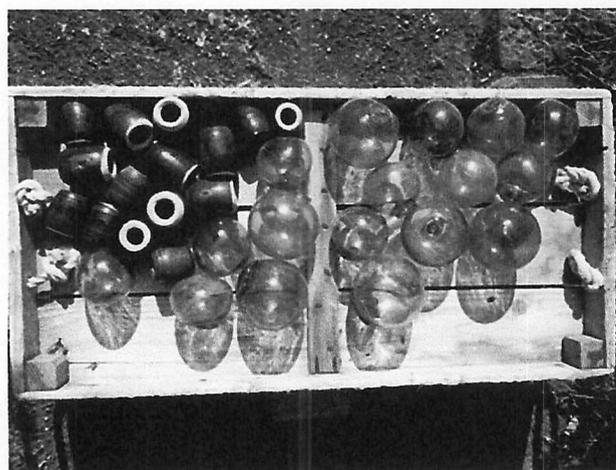
- ・ 10時頃 降幡 「北アルプス 奥剣の自然」 菊池 「池の平の高山植物」 降幡
「調査活動（川の生きもの-須賀川）報告」 浅井一
- ・ 11:30頃 昼食～持ち寄り品説明など
- ・ 午後 平田 「猿投の森の動物たち」 南川 「外国でのオオトカゲなど」
「パソコン研修」 榊原正
※以上午前・午後ともに、それぞれプロジェクターの映像で説明
- ・ 15:30頃 終了
※下記写真クリック → ビッグサイズになります

○菊池氏（奥剣の「池の平小屋」管理人）が小屋の下に広がる湿地で採集したしたトンボの殻を持参





○榊原正氏が全国の海岸（主に能登半島日本海側）で採集したガラス浮き球と陶製重りを持参



※欲しい人に1ヶずつですがお土産になりました

【行事名】 福井県夜叉が池方面（知多支部親睦研修旅行）

【日時】 2014年6月7日（土）～ 8日（日）

【場所】 大池公園⇒夜叉が池⇒たくら（泊）⇒福井県自然保護センター⇒池ヶ原湿原⇒大池公園

【天気】 曇り

【担当】 牧野・降幡

【参加者】 14名

（指導員：南川、降幡、菊池、浅井一、畠、平田、桑原、永田、村瀬、岩本、吉房、山田絹、藤井、牧野）

【内容】

梅雨入りして間もない天候が不安定な中、今回の研修旅行は、福井県南越前町にある夜叉ヶ池へのトレッキングツアーがメインの旅。天候を気にしながら、登山口に到着。駐車場脇にある巨大なカツラの木が出迎えてくれました。また、登山口鳥居の脇にある灯籠の中ではキセキレイが抱卵中。そっと覗かせていただきました。緑豊かな登山道を出発し、夜叉滝、ブナやカツラ、トチノキなどの巨木、ヤマボウシやコアジサイの花を目にしながら結構ハードな山道を登ること約3時間（かなり個人差あり）、標高1099mにある夜叉が池に到着です。

夜叉ヶ池でまず感激したのが、その景観の美しさ。そして多数のモリアオガエルと枝から下がった卵塊、彼らの声。ここでなければ味わえない感動です。池の中には、生まれ出るオタマジャクシを狙ってかアカハライモリもたくさんいた。夜叉ヶ池の固有種ヤシャゲンゴロウも見ることができました。途中、ほんの少し雨に降られましたが、本当に行ってよかったと思いました。

今回の宿は、南越前町にあるバンガロー。ナイトハイクでは、ゲンジボタル1頭、蛍光灯に集まる卵を持ったカゲロウ、クロスジヘビトンボ、カワゲラ等の虫たちを見ることができました。

2日目は、福井県自然観察指導員、北川氏のガイドで福井県自然保護センターの観察会に参加しました。テーマは、「シソバタツナミソウの観察」でしたが、それ以外にもササユリ、キンラン、たいそう立派なナルコユリ等の花を見ることができました。また、ムササビの葉の食み後、シカ、イノシシ、クマの樹皮の剥ぎ方の違い、観察中のエピソードなど興味深いお話も伺うことができました。

その後、同じ六呂師高原にある池ヶ原湿原に向かいました。整備された木道脇にはトキソウの花が見ごろを迎え、わずかですがレンゲツツジの花もありました。ここでもモリアオガエルと卵塊を発見。巨大なトビケラ、ムラサキトビケラにも遭遇しました。

今回の研修旅行も驚きや発見に満ちた楽しい旅行となりました。（記・牧野）

【観察した生き物】

◎植物

◎昆虫

◎鳥

◎その他

【観察会の様子】



【左】夜叉が池、登山口（右の石灯籠にキセキレイの巣）

【右】宿での楽しい食事

【行事名】 身近な生き物たんけんたい「明徳寺川の生き物を観察しよう」
地域の魅力?生物多様性セミナー
主催 愛知県知多農林水産事務所環境保全課

【日時】 2014年9月13日(土) 9:30~11:30
【場所】 東浦町明徳寺川(東浦町文化センター付近から坊主橋付近)
【天気】 晴れ
【担当】 水野恭志
【参加者】 一般73名

(指導員: 浅井一、岩本、伊藤岱、門脇、金内、桑原、榊原正、竹内秀、田中央、畠、平田、降幡、南川、山田絹、山田公、吉川勉、吉房)

【内容】

今年の夏は、比較的雨の日が多く9月になっても雨や曇りの天候がつづいたが、本日は一番の晴れ間となり雲ひとつない観察会に適した日となった。この観察会は、東浦町の明徳寺川で川の生き物の採集や観察、自然とふれあうことで身近な自然の大切さや楽しさ感じていただくために開催しています。

参加者は、グループごとに分かれて川の2箇所では生物採集をおこないました。川への昇降はハシゴとロープの2種類を設置したが、ハシゴで降りるよりロープの方が楽しいと喜んでいた参加者もいた。採集できた生き物はそれほど多くの種類はなかったが、魚やエビなどの名前も知らない生き物を捕まえる楽しさや水とのふれあいを十分満喫していた観察会となったと考える。また、今年名古屋でESDユネスコ世界会議が開催されるため、採集後の生物の解説では名前はもちろんのこと、生き物の特徴や外来生物問題など持続可能な開発のための教育についても取り上げ実施しました。

観察会終了後の話し合いでは、ロープを使った昇降はよかったこと、ミニ水族館では解説する指導員を配置したほうがよいこと、採集できた生き物が少なかったのも、下見の際は1日最終場所の検討を設けたほうがよいということなどが挙げられました。

(記・水野恭志)

【観察した生き物】

◎魚類

オオクチバス(ブラックバス)、オイカワ、カダヤシ、カマツカ、ギンブナ、コウライモロコ、タモロコ、ブルーギル、マハゼ、クロメダカ

◎甲殻、昆虫類

モンキチョウ、モンシロチョウ、アゲハ、キアゲハ、アキアケネ、シオカラトンボ(オス、メス、ヤゴ)、ハグロトンボヤゴ、ギンヤンマ、アメンボ、オオスズメバチ、イラガ、アメリカシロヒトリ、ショウリョウバッタ(♂)、コオイムシ、ヒメガムシ、シマゲンゴロウ、ミゾレヌマエビ、スジエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ

◎その他

ミシシippアカミミガメ、ウシガエル(おたまじゃくし)、ダルマガエル、ヌマガエル、シジミの殻、ドブガイの殻、スズメ、キジバト、ヒガンバナ、ツユクサ

【観察会の様子】



【左】受付。記念品をいただく

【右】開会式



【左】梯子を使って下ります

【右】水の中は気持ちがいいです

【観察会続き】



【左】草影が狙いどころ

【右】どんな生き物が居たか分かち合い

【行事名】 平成26年度 みどりの少年団交歓会

【日時】 2014年10月18日(土) 9:00~12:30

【場所】 大府市 ニツ池公園

【天気】 晴れ

【参加者】 約150名

(指導員：浅井一、伊藤岱、岩本、門脇、桑原、榊原正、竹内秀、田中央、畠、平田、降幡、水野恭、南川、村瀬、森田琢、吉房、山田絹、山田公)

【内容】

毎年、恒例となっている「みどりの少年団交歓会」は知多地方の各所から小学生が集まって実施されます。今年は大府市の当番でニツ池公園で実施されたました。ニツ池公園は森と大きなため池があり、以前の知多地方の自然の典型的な環境で緑と自然環境を学ぶのに好都合の場所でした。

参加したそれぞれのみどりの少年団は、次の通りの日程で元気よく、楽しい活動が出来ました。

- 開会式・挨拶説明等 9:30~9:45
- 移動と名札づくり 9:45~10:05
- 自己紹介 10:05~10:25
- 「木の中のリス」など(交流ゲーム) 10:25~10:45
- 自然観察とネイチャーゲーム 10:45~11:35
- 開会式場所に集合 11:35~11:50

みどりの少年団は、35年前の昭和50年に「緑とのふれあいをおして緑に親しみ、緑を守り育てる心を養うと同時にその活動を通じて、緑化思想の高揚と正しい緑の知識を身につけるとともに広く自然を愛し、そして自らの社会を愛する豊かな人間に育つこと」を目的に設立されました。組織は全国にあり、現在の団員総数は約30万人で緑を増やし自然を守る活動をしている。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎植物

ヤツデ、イヌマキ、サクラ、スギ、アケビ、ミズヒキ、クヌギ、コナラ、シラカシ、エゴノキ、ヨウシュヤマゴボウ、キンミクセイ、クロガネモチ

◎昆虫

エンマコウロギ、ヤマトシジミ、ハラビロカマキリ、イラガ

◎鳥

カルガモ、ハシビロガモ、ハクセキレイ

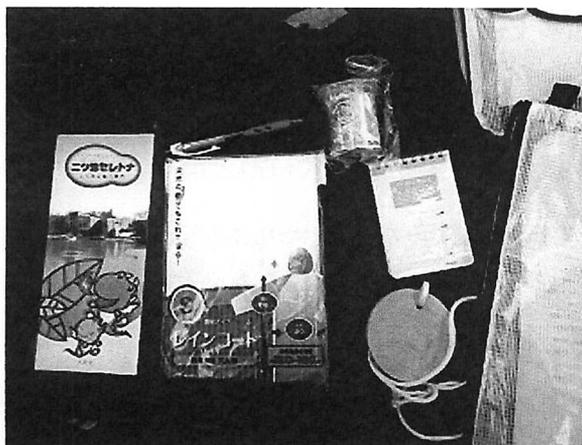
◎その他

アカミミガメ(外来)、ライギョ(外来)

【観察会の様子】



自然を知るための小道具をいただきました。



【左】いただいた小道具



【右】名札を書いています

【観察会続き】



【行事名】 「三重県紀北地域の自然を訪ねて」 知多支部親睦研修

【日時】 2014年10月25日(土)～26日(日)

【場所】 10/25 三重県紀北町海山区島勝浦(島勝神社樹叢など)⇒船越海岸(島勝の海食洞門観察)⇒船越の海跡湖(ハマナツメ)⇒船越海岸磯(磯の生物)⇒大白池と海岸(漂着物と池の生物)⇒宿

10/26 馬越峠(植物、シダ)⇒法然寺(鉄魚など)⇒九木神社樹叢(国天)

【天気】 晴れ⇒曇り⇒晴れ

【担当】 牧野、浅井一、竹内秀

【参加者】 降幡、浅井、桑原、永田、平田、吉房、村瀬、今西、岩本、竹内秀、りん、牧野

【内容】

世界遺産、熊野古道の人気ルート「馬越峠」。その周辺紀北町海山区を中心に観察旅行を実施しました。1日目は、紀北町の自然に詳しい伊藤先生にガイドをお願いし、充実したポイントでの観察を行いました。まず、島勝神社樹叢(県指定天然記念物)では、バクチノキの花、金網に張り巡らされたウメノキゴケ、ナギ、ムロムシグサ等のほか、南方系植物、リュウビンタイ、ナチシダ、ビロードムラサキなどを確認しました。ビロードムラサキはここが北限となっている暖地性落葉灌木で、葉は、細かい毛で覆われ、まさにビロードの感触でした。その後、島勝港に向かい、美しいライトブルーのソラズズメダイやメジナ、ガンガゼなどを見ることができました。船越海岸に移動し、島勝の海食洞門を確認し「ハマナツメ」の自生地船越池周辺を散策しました。ハマナツメは、三重県が北限と考えられており、別名「鳥止まらず」とも言われ幹は鋭い棘で覆われていました。その後、船越海岸で磯、大白池と海岸でビーチコーミング、鳥や魚、カニなどを観察しました。捕らえたメジナは、透明の容器に入れ置く場所の色で体色が変わるさまを確認しました。

2日目は、馬越峠を植物を確認しながら楽しみました。ルートは道の駅海山～天狗倉山山頂の往復、各々の体力で行ける所まで行きました。道中、ミカエリソウやリンドウの花、ルリミノキの実、紫色のさやのノササゲ、白いイズセンリョウの実など様々な植物が楽しませてくれました。次に尾鷲の向かい、県の天然記念物、法念寺の鉄魚を見に行きました。鉄魚は金魚(和金)とギンブナの交配によりできた品種で、尾びれの長いフナのような魚でした。最後は、国指定天然記念物、九木神社樹叢をチェック。ここにはヘゴ科のシダ、クサマルハチがあるとのことかなり探し回りました。が、発見できず残念でした。

今回の旅行では、伊藤先生に手作りの潮だまりの生き物ガイドブックを頂戴したり、法念寺、住職ご夫妻のおもてなしを受けたりと素晴らしいご縁もあり、いつにもまして深みのある旅となりました。(記・)

【観察した生き物】

◎植物

バクチ、リュウビンタイ、ビロードムラサキ、ハマナツメ、オニビシ、ハマアザミ、ツワブキ、アゼトウナ、サンカクイ、スジアオノリ、フユザンショ、タカクマヒキオコシ?、マツカゼソウ、ルリミノキ、ムロムシグサ?、イズセンリョウ、ミカエリソウ、コウヤボウキ、ノササゲ、アサマリンドウ

◎昆虫

トゲナナフシ、

◎鳥

ウミネコ、カモメ、ダイサギ、イソヒヨドリ

◎魚

ナベカカ、ウナギ、チチブ、メジナ、ウロハゼ、テツギョ、アゴハゼ

◎貝

コウベマイマイ?、マツバガイ、カメノテ、イシダタミガイ、イガイ、イボニシ、イソニナ、ケガキ、ヒザラガイ、

◎エビ・カニ

エビの仲間、クロフジツボ、モクスガニ、ケフサイソガニ、クロベンケイガニ

◎その他

ムラサキウニ、ダイダイソカイメン、クロイソカイメン、オオヒメノカサ、

【観察会の様子】



【左】島勝神社



【右】馬越峠



【左】法然寺



【右】九木神社

【観察会続き】



【左】伊藤先生に案内していただきました

りました



【右】法然寺のオクリさんにお世話にな

2014(H26)年 (1月～12月) ブロック主催観察会

No	年	月	日	曜	ブロック	テーマ	集合場所	担当指導員(問合せ先)
1	14	1	26	日	阿久比	「朽木の虫を観察しよう」	阿久比エスペランス丸山P9:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
2	14	4	13	日		「植物野鳥虫たちの躍動を感じよう」	エスペランス丸山P9:30	牧野(090-9222-0109)平松裕
3	14	5	18	日		「竹林であそぼう」	洋菓子サリユーP9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
4	14	5	31	土		「春の阿久比板山湿地周辺の観察」※人数制限有	ふれあいの森P9:30	宮内(0569-48-6199)伊藤祐
5	14	6	15	日		「福山川の生き物は今年も元気かな」	阿久比町板山公民館前9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
6	14	8	8	金		「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」	ふれあいの森P19:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
7	14	9	27	土		「秋の阿久比板山湿地を観察しよう」※人数制限有	ふれあいの森P9:30	宮内(0569-48-6199)澁谷
8	14	11	23	日		「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリユーP9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
9	14	1	26	日	常滑	「冬の鳥を見よう」	常滑市松原公園東P9:00	中井三(0569-42-2021)齊上
10	14	5	31	土		「愛知用水の食虫植物を見よう」	常滑市南陵公民館P9:30	中井三(0569-42-2021)森田琢
11	14	6	15	日		「海岸の生き物を見つけよう」中潮(干潮13:27)	常滑市蒲池漁港P10:30	森田琢(0569-42-1708)中井康
12	14	7	6	日		「水田と畑の良い虫悪い虫の観察」	常滑市南陵公民館P9:30	降幡(0569-43-8060)竹内匡
13	14	7	27	日		「前山川の小さな生き物を見よう」	常滑市青海公民館P9:30	浅井一(090-3387-8007)金内
14	14	9	5	金		「灯火に集まる虫と鳴く虫の観察」	常滑市多賀神社P19:00	降幡(0569-43-8060)平松俊
15	14	11	29	土	知多	「日長神社の紅葉と他の樹木を観察をしよう」	日長インター東広場9:30	細川(0569-43-3670)霜鳥
16	14	2	22	土	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦町高根の森P9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
17	14	4	26	土		「竹の芽吹きを観察しよう」	自然環境学習の森P9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
18	14	7	18	金		「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P19:00	春日(0562-84-2086)水野利
19	14	8	23	土		「須賀川の中をのぞこう」※「県民センター観察会」海の代行	南部ふれあいセンターP9:30	水野恭(080-3648-4467)桑原
20	14	10	19	日		「秋の森を探検しよう」→飛山池	東浦高校正門前9:30	竹内秀(0562-83-9023)岩本
21	14	4	26	土	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P9:30	榊原正(0569-21-7000)石川
22	14	10	13	祝		「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P9:30	石川(0569-23-1101)加藤美
23	14	11	1	土		「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P9:30	榊原靖(0569-21-3497)山田和

24	14	12	6	土		「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正
25	14	2	16	日	美浜	「岩石や地層の観察と化石探し」	聖崎公園P9:30	河原(0569-82-2307)永田
26	14	5	28	水		「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P15:00	大矢晃(052-841-6048)大矢美
27	14	6	25	水		「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P14:45	大矢晃(052-841-6048)大矢美
28	14	7	26	土		「ウミホタルの発光を見よう」	聖崎公園P18:45	大矢晃(052-841-6048)大矢美
29	14	1	26	日	武豊	「ワシタカ類のミサゴやチドリなど海岸の鳥たちを見よう」	名鉄河和口駅前海岸P9:30	古川(0569-73-6078)鈴木
30	14	4	6	日		「息吹いっぱい春の野山探検」	別曾池公園駐車場9:30	古川(0569-73-6078)畑中
31	14	5	18	日		「元気いっぱい初夏の生きものに会おう」	長成池公園駐車場9:30	原(0569-72-2377)伊藤伸
32	14	6	14	土		「今年はいろぞホテルに会おう」	市原農村広場P19:00	畠(0569-73-3518)鈴木樹
33	14	7	6	日		「新川の生きものを探ってみよう」	福寿園西500m新川沿い9:30	原(0569)72-2377 金内
34	14	8	23	土		「灯火に集まる虫を見よう」	老人福祉センター駐車場18:30	畠(0569-73-3518)平松俊
35	14	9	14	日		「実り近し秋の野山探検」	別曾池公園駐車場9:30	鈴木樹(0569)72-1393畠
36	14	10	19	日		「木の実や枝自然物で工作しよう」	老人福祉センター駐車場9:30	原(0569)72-2377 畑中
37	14	11	16	日		「遙か渡って来た鳥たちを見よう」	野外活動センター南9:30	古川(0569-73-6078)伊藤伸



【行事名】 「朽ち木の虫を観察しよう」 ●阿久比ブロック主催

【日時】 2014年1月26日(日) 9:30~11:30

【場所】 阿久比町箭比(ヤヒ)神社周辺

【天気】 曇り一時晴れ

【担当】 平松裕、平松俊

【参加者】 一般 6名(2家族)

(指導員:平松裕、平松俊、榊原正、原、浅井一、竹内秀)

【内容】

天気もよく観察会日和。裏道ルートで自然観察(鳥)しながら目指すお宮さんへ。

社叢内では定番の“トタテグモの巣”を見てから朽ち木を探す。間もなくいいものに出会いました。コクワガタの幼虫もたくさんいて、こどもたちも喜んで持ち帰りました。というのは竹内秀先生が空の容器をたくさん用意してきていて、それで飼育セットをこどもの人数分を作っておいたのでそれがお土産となりました。

観察容器はじめ飼育用の容器もちゃんと用意しておかないといけませんね。参加した子どものためには…。

本日は1本の朽木(直径15cm,長さ2mぐらい)の解体でいろいろ出てきてくれたのでそれだけで時間となりました。

ところで、裏道ルートが宅地造成で様変わりしていたのはショックでした。(記:平松裕)

【観察した生きもの】

◎昆虫:コクワガタ幼虫、ユミアシゴミムシダマシ幼虫、ヒゲジロハサミムシ、キマワリ幼虫、カミキリムシ幼虫、ダンゴムシ、ワラジムシ、オオクチキムシ、クモヘリカメムシ、アミメクサカゲロウ、ヨツボシオオアリ?、イチモンジカメムシ?

◎その他:アオズムカデ、ヤスデ、ミミズ、冬虫夏草

◎ホオジロ、メジロ、ヤマガラ、カワラヒワ、スズメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ

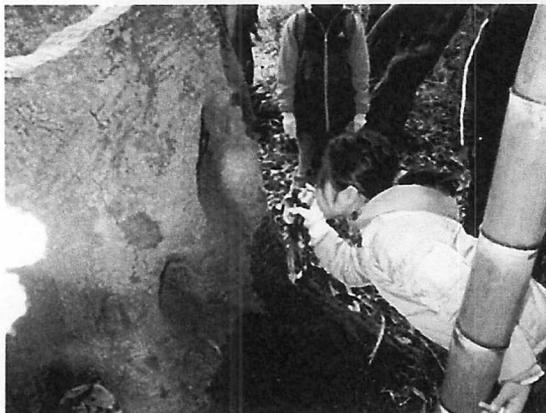
【観察会の様子】



【左】 始めのお話。真冬の虫さんどうしてるかな…



【右】 定番のトタテグモの巣探し



【左】 これまた定番の大木の洞のぞき(懐中電灯で)



【右】 飼育容器でお土産作り(写真クリック→ビッグ)

写真クリック→ビッグ

【行事名】 竹林で遊ぼう ●阿久比ブロック主催

【日時】 平成26年5月18日（日） 9:30～11:30

【場所】 洋菓子サリュエ東の竹林

【天気】 晴れ

【担当】 牧野、平松裕

【参加者】 一般 大人 7名、子ども 5名
（指導員：榊原正、牧野、平松裕）

【内容】

GWに連れてきたヤギのユキちゃんが人気者になっていました。正躬先生の作ってくれたブランコやハンモック、パチンコなど遊具が昨年よりかなり手が込んだものになっていて、参加者は大人も子どもも大喜びでした。筍もまだ残っていて筍堀も楽しみ、筍の簡単な茹で方やパチンコの握る部分の竹を切ってもらったりして親子で自然を満喫している様でした。（記：平松裕）

【観察会の様子】



【左】 始めのお話。竹林で思いっきり遊びましょう…

【右】 ゴム銃（パチン

ま
と
コ）で“的あて”遊び



【左】 “ハンモック”遊び。でも、こうなっちゃうと起き上がるのが大変…

【右】 終わりのお話。遊びたい人はもっと遊んでいっていいですよ…

【観察会の様-追加】

【行事名】 灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう

● 阿久比ブロック主催

【日時】 2014年8月8日(日) 19:30~21:00

【場所】 阿久比町ふれあいの森P 集合

【天気】 雨が降ってきそうな曇り

【担当】 平松裕、平松俊

【参加者】 一般： 大人 1名、 子ども 2名
(指導員：平松裕、平松俊、榊原正)

【内容】

灯火観察の現場は駐車場から徒歩10分ほどの所だ。こんな天気だから一般参加者は来ないのかなと思いつつ待っていたら19:20頃、1組の親子がみえ、ホッとした。19:35もう参加者は来ないと思って車で駐車場を出発。車なら2分足らずで現場へ着く。

現場ではすでに灯火はセットされていて白布(?)には昆虫もいたので子どもたちの目はそればかりに行っていたが十分時間が来ていたので開会の挨拶を始める。主催者のホントに短い挨拶後、例年通りのナイトハイクに出発。さすがにこのような観察会に参加する子どもは虫好きみたいで中の一人は素手で何でもつかみにいってこちらがハラハラするほどだった。

ナイトハイクでは昨年同様カトリヤンマが葉っぱにぶら下がって寝ていた。期待していたクロマドホタルの光は見る事が出来なかった。クロマドホタルの場所を通過したところに池があるが、池の水面を照らすとハイイロゲンゴロウ(?)やガムシ(?)の仲間がたくさん泳いでいた。(?)の理由：みんなで観察しようとしたその時、雨がポツポツしてきたので、確かめもせず、すぐに灯火の現場に引き返した(急な大降りが予想されたので)

実際は雨は降らず、その分ゆっくり時間かけて灯火に集まった虫を観察することができた。兄弟2人は誰に遠慮することなく貸し切り状態で虫と遊ぶことができ、きっと大満足だったはず…。終わりがけに分かったことであつたがこの家族、知立市からのお越しとのこと。帰路はお母さんの運転で兄弟二人はしっかり眠っていくことでしょう。虫さんの夢を見ながら…。

(記：榊原正)

【観察した生き物】

- ・ナイトハイク…カトリヤンマ(♀)、ジョロウグモ、 ほか色々
- ・灯火に集まった虫…カブトムシ(♀)、ツノトンボ、ツチカメムシ、 ほか色々

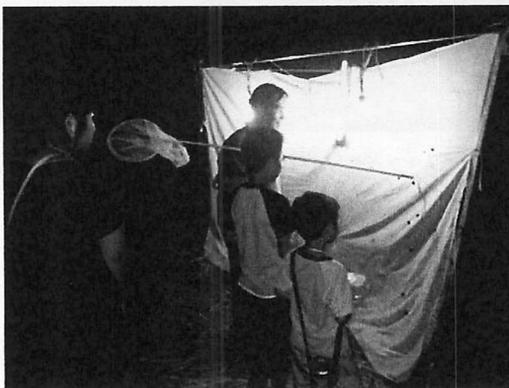
【観察会の様子】



【左】 始めの挨拶(あいさつ)



【右】 ナイトハイクでトンボを捕った



【左】 灯火に集まっていた虫の説明



【右】 終わりの挨拶

【行事名】 リース作りや竹の工作であそぼう ● 阿久比ブロック主催

【日時】 2014年11月23日(日) 9:30～11:45

【場所】 洋菓子サリユーP 集合

【天気】 晴れ

【担当】 平松裕、牧野

【参加者】 一般： 大人 4名、 子ども 6名

(指導員：平松裕、牧野、門脇、浅井一、榊原正、竹内秀)

【内容】

私が着いたときには、先に着いた子どもたちはヤギの“ユキちゃん”と遊んでいたり既に林内に入っていたりした。

林内で遊んでいた子が帰ってきたところで、「開会式は林内でしましょう。それまでは林内で遊んでいましょう」と言うことで、まず、林内へ入り、遊んでいる最中に集合して“始めのお話”を始めた。

林内の遊びは、竹渡り、ブランコ、ごむ銃的的あて、つた登り、探検などだ。みんなそれぞれが遊んでいるうちに指導員がヒラタケの群生を見つけ、みんなでそれを採取した後、リースづくり場所へ戻った。

小川(溝)に亀がいたので見たり、ユキちゃんと遊んだりして最後は完成したリースを持って写真を撮った。

遠くにオオタカが飛んでいた。天気にも恵まれよい観察会になった。(記：榊原正)

【観察した生き物】

- ・ベニカミキリ&その幼虫…朽ち竹の中。竹に乗ってたら折れて、その折れ目で発見
- ・イシガメ…5匹。ただし、2匹はおぼれて既に死んでいた

【観察会の様子】



【左】遊んでいるところを集めて“始めの挨拶”



【右】ブランコ遊び



【左】ヤギのユキちゃんと遊ぶ。ユキちゃん桑の葉が大好きを持ってパチリ



【右】自分で作ったリース

【行事名】 愛知用水の食虫植物を見よう

【日時】 2014年5月31日(土) 9:30~11:30
【場所】 集合:南陵公民館P 観察場所=小鈴谷愛知用水沿
【天気】 晴れ
【担当】 中井三、森田琢
【参加者】 一般12名(大人5名、子供7名)
(指導員4名:中井三、森田琢、降幡、吉房)

【内容】

9時30分、公民館Pで挨拶、注意事項と観察場所の説明後、小鈴谷の愛知用水沿いに車で移動。

ここ、数年シモチソウの花期が観察会の日とはなかなか合わなくて、心配していましたが、今年はたくさんの花を見ることが出来た。

イシモチソウの根っこのところを水で洗い流し塊を見せ、「塊がいかにも石を抱えもっているように見える」と名前の由来を説明した。

ルーペでイシモチソウに小さな虫(小さすぎて名前の分からない)が捕まっているのが見られ、「食虫植物とは?」をはっきり観察できた。

コモウセンゴケはたくさんの赤い花をつけていたが、モウセンゴケはまだ花は見られなかった。花茎は出ているのもあったが花の白色は無く、コモウセンゴケとの花の色を比較できなかった。

子供たちは、植物より動くものなどに興味を示し、用水路横の側溝にタモを入れ、ザリガニ採りに夢中になっていた。

(記・中井三)

【観察した生き物】

◎植物

ナミキソウ(花)、ノアザミ(花)、イシモチソウ(花)、コモウセンゴケ(花)、オオニワゼキショウ(花)、カキラン(蕾)、シラン(花)、ミヤコグサ(花)、ネジバナ(花)、モウセンゴケ、キバナノマツバニンジン(蕾)、ワレモコウ、ヒカゲノカズラ、ヒメトクサ、ツリガネニンジン、カワラマツバ(花)、チガヤ、カナビキソウ、ワラビ、ゼンマイ、サルトリイバラ、テリハノイバラ、ノイバラ(花)、オトコヨモギ、ウラジロ、アリノトウグサ、ヌマトラニオ、コケリンドウ(花)、ベニバナセンブリ(花)

◎動物

ウマビル、ヌマガエル、アメリカザリガニ、オタマジャクシ、ハラビロトンボ、シオカラトンボ、イシガメ

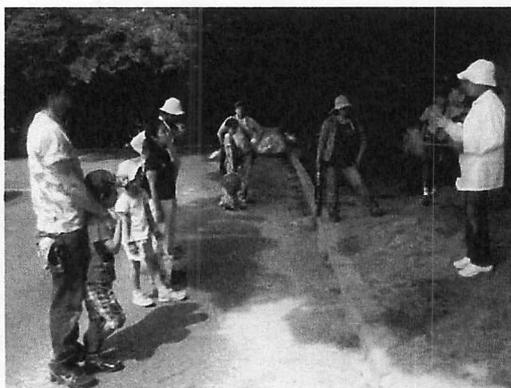
鳥(鳴き声):ツバメ、ウグイス?ウグイス)、(オオヨシキリ)、ハシボソカラス、セッカ、(ホウジロ)、(ホトトギス)(ヒヨドリ)(カワラヒワ)

◎その他(南陵公民館P)

クロガネモチ(雄花・雌花)

モリチャバネゴキブリ(幼虫)、ダンゴムシ、ガムシの幼虫

【観察会の様子】



【左】 開会で本日の予定と注意のお話



【右】 現地到着、準備OK

【行事名】 海岸の生き物を見つけよう

【日時】 2014年6月15日(日) 10:30~12:30

【場所】 集合:蒲池漁協P

【天気】 晴れ

【担当】 森田琢磨、中井康夫

【参加者】 一般23名(大人10名、子供13名)

(指導員7名:森田琢、中井康、中井三、降幡、門脇、森田博、桑原)

【内容】

当日は大潮、干潮時刻が13時30分頃でしたので観察会開始時刻を10時30分に遅く設定しました。同時間帯はワールドカップサッカーのTV中継もありましたが

9家族23名の参加を頂き盛況な観察会になりました。会場は磯砂浜の安全な海岸ですが、危険な生きものイシガニ等の説明と熱中症への注意を促して開始しました。

常連の生きものヤドカリ、イソガニ、イソギンチャク、クラゲ、海藻、貝殻は子ども達にも簡単に採取でき、話題にも事欠きません。その場その場で指導員が活躍できます。

魚類は採取場所選びからたも網の使い方、つかみ方まで難しさが伴い、大人のサポートが必要になります。大きめの魚やイシガニの採取は門脇指導員の独断場で、

分かち合いの場を盛り上げるのに貢献してくれました。採取できた生きものの種類は40種を超え思ったより多く感じました。

11時45分から分かち合いと質疑回答して閉会しました。捕らえた生きものはすべてリリースしました。

(記・森田琢)

【観察した生き物】

◎海藻

緑藻:アナアオサ(アオサ科)

紅藻:オゴノリ(オゴノリ科)、ツルツル(ムカデノリ科)、キョウノヒモ(ムカデノリ科)

◎魚類

ヒイラギ、シタビラメ、アカオビシマハゼ、クジメ、イソギンポ、フグ(稚魚)

カサゴの仲間、メジナ(幼魚)、ボラ(稚魚)、ミミズハゼ

◎軟体動物

腹足綱(巻き貝):イボニシ、アカニシ、イシダタミ、ツメタガイ(貝殻)、アメフラシ(及び卵塊)、コウダカアオガイ、カラマツガイ(及び卵塊)

二枚貝綱:アサリ(貝殻)、ウチムラサキ(貝殻)、マテガイ(貝殻)、ナミマガシワ(貝殻)、カガミガイ(貝殻)、トリガイ(貝殻)、シマメノウフネガイ、ムラサキイガイ、

サルボウ、アカガイ(貝殻)、イソシジミ(貝殻)、マガキ(貝殻)

◎節足動物

イシガニ、ガザミ(死骸)、イソガニ、ケフサイソガニ(♀)、ヒライソガニ

エビジャコ

ユビナガホンヤドカリ

カメノテ

イソヘラムシ、ワレカラの仲間、フナムシ

◎刺胞動物

ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク

ミズクラゲ、アカクラゲ

◎海綿動物

ダイダイイソカイメン(群体)

◎環形動物

カンザシゴカイ(群体)の仲間

【観察会の様子】



【左】危険な生きものの説明



【右】カニ獲り

【行事名】 「水田と畑の良い虫悪い虫の観察」

【日時】 2014年7月6日(日) 9:30~11:30

【場所】 常滑市井間池付近

【天気】 曇り

【担当】 降幡・竹内匡

【参加者】 大人3名 子ども3名 指導員8名

(指導員降幡 中井三 森田琢 古川 平松俊 浅井一 牧野 宮内 竹内匡)

【内容】

集合場所は南陵公民館で、あいさつ後、会員が自宅で採れたヤマモモを持参、「粒が大きく甘くすっぱい」と参加者みんなで味わった。

観察場所に移動。まず水田に、田植えが済み畔には小さいアマガエル、ショウリョウバッタの幼虫がピョンピョン跳んで踏みそうでした。会員から「水田から高砂山への登り口に入ったらヤマモモがたくさん実っている」とのこと、少し山に入り、みんなで又ヤマモモを・・・すごく甘かったです。

高砂山ハイキング道に入ったところでキノコ(キツネノエフデ?、クロハツ老菌)、ミツバアケビ、など確認。

水田近くの池(井間池)にたくさんのカメ(アカミミ?)がいました。

その後、畑に移動し、イタリアンパセリ、サニーレタス、トマトの中で観察。

◎ 本日観察した生き物で人間のにとってよい(有益)生き物は?⇒カマキリ、トンボの仲間 カエル クモの仲間などの話題が出ました。(記・中井三)

【観察した生き物】

◎植物

ヒルガオ コマツナギ カワラナデシコ タチイヌノフグリ ツユクサ

◎昆虫

ナガヒメヒラタアブ、ハラビロトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、ノコギリカミキリ、ツアカネ、メバチ、マルカメムシ、アゲハの幼虫、キマワリ、ショウリョウバッタの幼虫 キリギリス、マダラバッタ、ヤブキリの幼虫、キチョウ、コムスジベニシジミ、コシアキトンボ、ウチワヤンマ、オニヤンマ、マメコガネ、コアオハナムグリ、クビボソハムシ類、コフキゾウムシ、ツユムシ、ホシササキリ、アカスジカメムシ、ブチヒゲカメムシ、ホソハリカメムシ、シオヤアブ、アオメアブ、ツマグロキンバエ、ベッコウバチ、ヒメバチ類、クロヤマアリ、

◎鳥

メジロ コゲラ ホウジロ シジュウガラ セッカ アオサギ ダイサギ トビ ツバメ ヒヨドリ

◎その他

アマガエル ヌマガエル

【観察会の様子】



【左】原風景が残る、谷地



【右】ため池の生き物をながめています

【行事名】 日長神社の紅葉と他の樹木を観察をしよう

【日時】 2014年11月29日(土) 09:30~11:00

【場所】 知多市 日長神社

【天気】 雨

【担当】 細川、霜鳥(欠席)

【参加者】 一般nn名(大人1名、子供1名)
(指導員3名:細川、森田琢、古川)

【内容】

雨が降っていましたが、日長神社の木々は美しく紅葉していました。晴れていれば最高の紅葉狩りができたのにといいながら観察を行いました。

テイカカズラは、地面を這っているときには小さな葉をつけていますが、木に登るほど成長すると大きな葉をつける面白い種です。立派な実をつけているのを観察しました。また、境内には、シキザクラが満開でした。(記:細川)

【観察した生き物】

◎植物

イロハモミジ、オオモミジ、ツワブキ、センリョウ、マンリョウ、シキザクラ、カクレミノ、ヤツデ、スダジイ、ヤマノイモ(むかご付き)、テイカカズラ(果実)、サネカズラ、アオツツラフジ、ナンキンハゼ、サルノコシカケ

◎動物

カタツムリ(イセノマイマイ)

◎その他

【観察会の様子】



【左】 雨の中の観察会



【右】 強い雨を神社境内で避難



【左】 カタツムリ捕まえた



【右】 紅葉谷景観

【行事名】 冬の生き物たちに会おう

【日時】 2014年2月22日(土) 9:30~11:30

【場所】 東浦町高根の森公園

【天気】 晴れ

【担当】 岩本 山田公

【参加者】 一般：大人5名、子供5名

(指導員：山田公、岩本、森田博、浅井一、門脇、竹内秀)

【内容】

高根の森公園に集合。大人と子供が半々の参加者。遠くまでは歩かずに少し林の中をまわって始めの所にもどった。指導員が用意した椎茸のほだ木の朽ちかけたものを分解して木の中をのぞいた。はじまってすぐびっくりして飛び出したのはムカデ、成虫のユミアシゴミムシダマシ、寒いのか死んだように固まって動かない。進んでいくうちに、大きなカミキリムシの幼虫がざくざくでてきた。まるまるしておいしいそう！キマワリの幼虫やユミアシゴミムシダマシの幼虫もみられた。コクワガタの成虫を3頭発見。日差しが心なしか柔らかく感じられ、少しづつ生き物の活動もはじまっていることが感じられた。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎昆虫

ユミアシゴミムシダマシ、コクワガタ♂、カミキリムシ(幼)、キマワリ(幼)、ユミアシゴミムシダマシ(幼)、コクワガタ(幼)

◎その他

ムカデ、ダンゴムシ

【観察会の様子】



【左】 よく見えるよ



【右】 ここにはいないかなあ



【左】 ユミアシゴミムシダマシ(右) とキマワリ幼虫(左)



【右】 立派なコクワガタ

【行事名】 灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう ● 東浦ブロック主催

【日時】 2014年7月18日 19:00 ~ 20:30

【場所】 東浦町高根の森

【天気】 晴れ

【担当】 春日 水野利

【参加者】 一般 13名(大人7名, 子供6名)

(指導員:水野利 春日 平松俊 榊原正 榊原靖 岩本 浅井一 古川 竹内秀)

【内容】

最近雨が降っていないので、林は乾燥気味だった。期待薄かと思いつつ、虫を探して林の中へ。初めのうちは、かさっと動くものキマワリにも歓声が上がっていたが、だんだん見られるもののレベルが上がってきてキマワリには目もくれなくなった。、ニイニイゼミのを見つけながら進んだ。「ニイニイゼミのなる木」のようにニイニイゼミの抜け殻や羽化しようとしている幼虫がたくさん登っている木もあった。カラスヨトウガが冬眠ならぬ夏眠をするという話を聞き、上を見上げると真新しい巣箱に示し合わせたように何匹もついていた。

乾燥の割に樹液の出ている木もあり、コナラでコクワガタの雄、雌を見つけて、みんなが元気になった。そのうちにカブトムシのなっている木もあり、久しぶりにたくさんのカブト、クワガタを見つけることができた。コクワだけでなくノコギリクワガタも数頭ゲットできた。カナブンが多数いるコナラのレストラン、羽化直後のニイニイゼミ、羽化直後のニイニイゼミを食べているムカデなどいろいろ見ることができた。

会を始めた時間はまだ明るく、ニイニイゼミの声に混じってアブラゼミの声が少し聞こえる程度だった。今年は羽化が遅れているのだろうか。灯火採集は駐車場からすこし林に入ったところに準備をいただいた。ニイニイゼミ、コフキコガネ、ドウガネブイブイ、アオドウガネ、カミキリムシ、コガネムシやガ仲間を観察することができた。(記:竹内秀)

【見られた昆虫】

ドクガの毛虫 キマワリ モリチャバネゴキブリ カラスヨトウガ ウスバカゲロウ(成虫) ニジイロゴミムシダマシ カナブン コクワガタ ノコギリクワガタ カブトムシ ウスバカミキリ キマダラカミキリ ミカワオサムシ ヤブキリ シャチホコガ アオドウガネ ドウガネブイブイ ヒメガムシ クロカメムシ オオゾウムシ コフキコガネ

【観察会の様子】

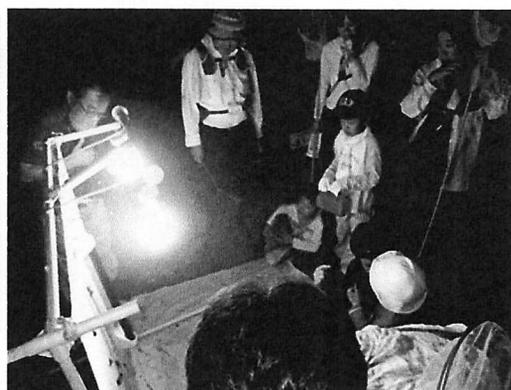


【左】 始めのお話。カブトやクワガタも見つかるといいね。出発…

【右】 木の幹を下から上までしっかり探す



【左】 こんな場面にも出会った



【右】 園内の散策路のハイキングを終えて→灯火採集の前で虫さんの説明

【行事名】 秋の森をたんけんしよう

【日時】 2014年10月19日(日) 9:30～11:30
【場所】 東浦町東浦高校前集合→ 東和荘横飛山池回り
【天気】 晴れ
【担当】 竹内秀、岩本
【参加者】 7名
(指導員：田中央、山田公、岩本、竹内秀)

【内容】

大型台風が2週続けて日本に襲来して久しぶりの晴天の週末。朝から東浦町内はどこも区民運動会のため誰も来ないかな。とお墓の駐車場で待っていると、虫かごをもった親子が東浦高校方向へ。よく見ると3組の家族が。皆さん、町外の知多市、阿久比武豊町、名古屋市今年からの参加とのことでおどろいた。ドングリの話を少しして、今年から東和荘の回りを回るようになっていたので車で移動。ところが、行けるはずの散歩道が草ぼうぼう。林間へはいるとさすがに下草が小さくなって歩きやすくなるが、アレチヌスビトハギの襲来を受け、下半身種だらけ。ハギさんにとっては格好の種の運び屋になった私たちであった。コナラの絨毯や、アケビ、ヒヨドリジョウゴ、クサギの秋の山の宝石たちを実ながら進んでいく。飛山池一週をあきらめ、途中から東亜荘の方へ。東和荘の南の林の中でミツバチの箱がおいてあるところを発見。しばしハチたちの羽音に耳を傾けた。少年がカマキリがほしいとずっと言っていたら後半で4匹もとれ満足的笑顔。今後、公園として年に何度かは草刈りをして整備していただけるよう要望していきたい思った。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎植物

コナラ、アケビ、アレチヌスビトハギ、カラスウリ、セイタカアワダチソウ、ヒヨドリジョウゴ、イヌホウズキ、ツユクサ、キツネノマゴ、ヨウシュヤマゴボウ、

◎鳥

ヒヨドリ、カイツブリ、シジュウカラ

◎その他

ジョロウグモ、ムジナタケ、ホコリタケ、

【観察会の様子】



【左】 観察会の最後にはいポーズ。晴天です



【右】 アレチヌスビトハギの襲来



【左】 アレチヌスビトハギの襲来②



【右】 みんなで座り込んで採ります、軍手が活躍、ふるたおるもOKです。

【行事名】 康衛池のカモと阿久比川河口の生き物 ● 半田ブロック主催

【日時】 2014年12月6日(土) 9:30~11:10

【場所】 集合：瑞穂記念館P

【天気】 曇り

【担当】 鈴木汎、榊原正

【参加者】 一般：大人3名、子ども1名

指導員：浅井一、榊原正、榊原靖、鈴木汎、古川、牧野、森田琢

【内容】

12月の初旬ってこんなに寒いのかと思うぐらいこの2、3日は寒い。早く来た人から隣接する康衛池のカモを観察している。時間になったので、一旦区切り、始めの挨拶をする。挨拶の後も、当然、同じ場での観察が続く。泳いでいるカモの数は去年の観察会の時よりも少ない。年々減っている感じた。

池の観察を切り上げ、阿久比川河口に行く。堤防に出たとき比較的近くにいた10数羽のヒドリガモはすぐに泳いで遠くに行ってしまった。遠くの川面にも鳥影は少ない。カキ殻(貝)の浮島(?)でハシボソガラスがしきりに地面をつついていたが、ひょっとして、カキを割って喰っていたのか…。

折り返し地点は潮と風の関係で“ゴミだまり”になるところ。そこでひとしきり遊んで帰路につく。住宅地の道路でメジロとシジュウカラを見た。最初の池に戻ったとき比較的近くを水に潜らないで一直線に相当長い距離を泳ぐカイツブリを観察できた。

(記：榊原正)

【観察した鳥】

- ・池で…ホシハジロ、キンクロハジロ、オナガガモ、ハシビロガモ、コガモ、カイツブリ
- ・川で…ヒドリガモ、アオサギ、カワウ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、イソヒヨドリ？…遠くて逆光のため確認できず
- ・道で…メジロ、シジュウカラ、ヒヨドリ

【観察会の様子】



【左】 担当指導員の始めの挨拶



【右】 挨拶の前も後もこんな感じで池のカモを観察



【左】 阿久比川での観察。遠くのアオサギを観るを探す



【右】 漂着ゴミだまりで木の実など

【行事名】 岩石や地層の観察と化石探し

【日時】 2014年2月16日(日) 9:30~11:30

【場所】 南知多町聖崎公園⇒片名蛭子海岸 (往復)

【天気】 晴れ

【担当】 川原・永田寛

【参加者】 名

(指導員：河原・永田寛・降幡・浅井一・森田博)

【内容】

集合した大井の聖崎公園は北西の風が強く当たり寒い日でした。観察場所の蛭子海岸は集合場所と少し離れていて車の往来の激しいところを移動をしました。蛭子海岸は南東面で風を凌げる場所にあり快適に観察できました。毎回、地質や化石に詳しい仲間に援助していただき、楽しく有意義な観察ができます。今回も資料を作成していただき、蛭子海岸で観察できそうな化石の標本も持参していただきました。更に、採集した化石標本ラベルも提供していただきました。親切な指導をしていただいたのでたくさんの種類の化石を観察できました。天気も良かったので三河湾対岸の山の観察でき地質の違いなども解説していただきました。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎植物

◎昆虫

◎鳥

◎その他

【観察会の様子】



【左】 担当から本日の予定と諸注意



【右】 岩石を下に移動して観察



【左】 海岸に近いところでも観察



【右】 最後の採集した化石の同定

【行事名】 「ウミホタルの発光を見よう」

【日時】 2014年7月27日(日) 18:45～20:30

【場所】 集合:南知多町聖崎公園P

【天気】 晴れ

【担当】 大矢晃、大矢美

【参加者】 一般17名(大人11名、子供6名)

(指導員5名:大矢晃、大矢美、永田孝、古川、岩橋)

【内容】

8:45 聖崎公園駐車場に集合し、会場となる弘法大志像が見える長谷崎に移動しました。

参加者は、HPを見た人、大井町在住の人など約20名。明るいうちに、豚の肝、魚のあらを入れたガラス瓶の罠を、底が砂地の海に沈めます。

罠にウミホタルがかかるまで、40分ほど待たないといけません。そのあいだに、アカテガニが、山から浜にやってきて、おなかの赤ちゃんを海に流すという放仔を観察しました。

さすがに、大勢の人の気配にアカテガニも警戒していました。あまり数がいませんでしたが、人がいなくなる

と、一斉に姿を現すのでしょうか。

19:30 きょうは、新月。あたりが真っ暗になって、お待ちかねの罠の引き上げの時間になりました。引き上げたビンの中には、何やら小さな生き物が活発に動きまわっています。

……もしかして……これがウミホタル???あれっ!何か青く光っている点が!ウミホタルは、刺激を与えないと光らないようです。

ちょっとかわいそうですが、コンクリートの上にびんの中身を流してみると、一斉に光りだしました!

もっと、もっとあざやかなクリスマスのイルミネーションに慣れた子どもたちから歓声が上がりました。

こんなかすかな光でも、自然の光は人の心をなごませます。

みなさん、お疲れ様でした。ウミホタル見られてよかったね。

まるで昼間のように明るい電灯が開発されても、かすかなホタルの光は人の気持ちをわくわくさせます。

いつまでも、この光が絶えることがないように。(記・大矢美)

【観察した生き物】

ウミホタル、アカテガニ

【観察会の様子】



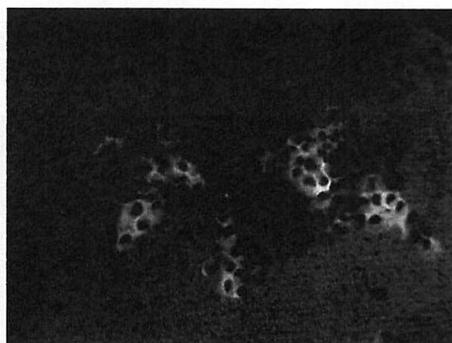
【左】 これだけの人が集まりました



【右】 ウミホタルのトラップ



【左】 瓶の中で泳いでいます



【右】 刺激を与えると光りました!

[これまでの観察会へ](#) [トップページへ](#)

【行事名】 息吹いっぱい春の野山探検

● 武豊ブロック主催

【日時】 2014年 4月6日(日) 9:30~11:40

【場所】 別曾池公園とその周辺

【天気】 曇り

【担当】 古川、畑中

【参加者】 一般：9人（大人4人・子供5人）

指導員：古川・畠・鈴木樹・原・柳原正・浅井一・牧野・森田博・畑中（記）

【内容】

今日は気温が低く風も冷たい。冬に逆戻りしたような天気の中「知多半島にコウノトリが飛来」のニュースを聞き ひょっとしたら見られるかも…と期待しつつ出発。たんぼの脇の水路ではおたまじゃくしを発見。コースではミツバアケビの深い紅、ゴヨウアケビのうすもも色、ショウジョウバカマのピンク、目前には萌黄色の里山。

大人には心身ともにゆっくりとした時間を。子供たちはタンポポゆびわ うらじろの馬を作ったり かえるを捕まえ観察したり 自然とふれあう時間を過ごすことのできた一日でした。

残念ながらコウノトリには会えませんでした。（※3/31及び本日4/6朝に知多半島内で目撃情報あり）

【観察した生きもの】

<草・花>

ホトケノザ・ヒメオドリコソウ・セリ・ナズナ（ペンペン草）・ハハコグサ・ハコベ・コオニタビラコ・アシタバ・イタドリ・オオイヌノフグリ・ノゲシ・ノボロギク・ワラビ・ゼンマイ・アケビ・ツボミオオバコ・キウリグサ・ケキツネノボタン・トキワハゼ・スズメノヤリ・ヤマツツジ・スズメノテッポウ・アメリカフウロ・カラスノエンドウ・セイタカアワダチソウ・ツクシ・ショウジョウバカマ・タチツボスミレ・ニオイスマレ 等

<昆虫・鳥>

ベニシジミ・ルリシジミ・バッタ（幼虫）ウグイス・ハシボソガラス（営巢中）アオサギ・カイツブリ・ツバメ・メジロ・ツグミ 等

<その他>

カナヘビ・シジミ・カワニナ・ヌマガエル 等

【観察会の様子】



【左】 元気いっぱいの子どものエントリー



【右】 子どもは水路が大好き



【左】 H指導員の“おはこ”…ヤマノイモで蝶づくり



【右】 閉会式で特別展示

【観察会の様子-続き】

【行事名】 今年はいるぞ ホタルに会おう ● 武豊ブロック主催

【日時】 2014年(H26)6月14日(土)19:00~20:30

【場所】 武豊町 市原(いちはら)農村広場近隣

【天気】 曇り

【担当】 畠、鈴木樹

【参加者】 一般44人(大人28人・子供16人)

指導員: 畠、古川、畑中、伊藤伸、降幡、柳原正 (畠・記)

【内容】

曇り、風なし、空気はカラッとしていましたが、まずまずホタル観察には恵まれた天気。ここ一週間の間に場所や服装等の問い合わせ電話が十数本あり、「関心の高さとともに、多数の参加者」が予想されました。案の定、車21台、44名もの方の参加がありました。「駐車場看板」の掲出、明るいうちの受付で、難なく集合ができました。予定を少し繰り下げ19:20開会。

「限られた所に追いつめられながら、けなげに命をつないでいるホタル。年代を問わず郷愁と愛おしさを感じるホタル。いつまでも生き続けられる様みんなて優しく見守って行こう」との我々のメッセージと、注意事項を伝え、観察場所へ出発。

途中、何種類かのカエルの声、虫の声を聞きながら、あるいは田んぼに光を当てて、光の中に浮かぶ虫やオタマジャクシなどを観察しながら15分程行く。

50名の集団が予定の観察場所に到着。丁度ホタルが光り始める。口々に「光った、ここ、あそこにも」と、本当に、「光っているホタル」に会えた喜びの声。時間からして「いよいよ飛び交いますよ」と知らせる。そのはなから、飛び交いが始まりました。うちわですくおうとする人、手で掴もうとする人、草むらのホタルをかがんで観察する人、人、人。さながら人とホタルの社交場となりました。

およそ30分経過、ころあいをみてターンの合図。駐車場に戻ってまとめを実施。終了の挨拶の後20:30解散。

楽しかった、可愛かった、見られて良かった、うれしかった などなど満足の声が聞かれ、われわれも「今年はいるぞを皆さんがすっかりさせないでよかった」と安堵しました。

【観察種】

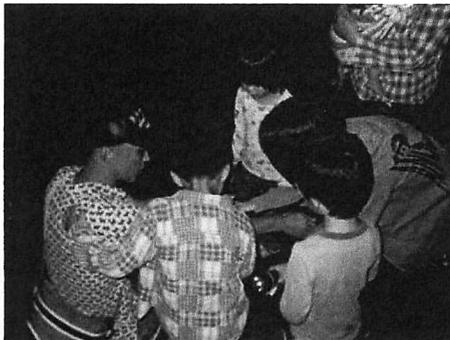
ヘイケホタル、クロカミキリ、ウンカの類 ほかく聞いた声>

トノサマガエル、ダルマガエル、クサキリ、ギッチョの類、コオロギの類 ほか

明るい時間帯には ホトトギス、ウグイス の声も。

以上

【観察会の様子】



【左】 どの子どもも手にとって観ることができた 【右】 手に取ってみると小さかった



【左】 帰り道、ちょうどペンダントをつける位置にホタルがとまって光を点滅していたのでみんなが「ワァーすごい」と言って眺めている。写真をクリック→拡大写真
【右】 終わりのお話。解散後に上記のホタルどうなったかなと思って見てみたら、まだ同じ位置で光を点滅していた。本当こんなこともあるんだなと思ったものでした

[これまでの観察会へ](#)

[トップページへ](#)

【行事名】 新川の生きものを探ってみよう ● 武豊ブロック主催

【日時】 2014年(H26)7月6日(日) 9:30~11:30

【場所】 武豊町 新川中流部(福寿園の西500m、新川沿い)

【天気】 曇り

【担当】 原、金内

【参加者】 一般 26人(大人10人・子供16人)他にスタッフとして町環境課の3人
指導員:原、金内、畠、畑中、伊藤伸、榊原正、田中央、森田博(原記)

【内容】

天気は曇り。この時期の強烈な太陽光を遮っていてくれて、絶好の観察日和であった。

数日前の下見時は、50センチ幅ほどの流れを残して、川幅いっぱい上流側全部をびっしりと覆っていたオオフサモ。それを前日までに町環境課の職員の方々が片側へ押し上げて、およそ2メートル幅、上流側50mにわたって川筋を確保、観察会ができるよう準備をしてくださって大助かり。

9時半開会。川へ入っての注意事項と生きものの捕り方を話し、いざ川へ。はしごを伝って降り水中へ第一歩。足裏に感じた川底の様子はいかに。おっかなびっくりの足の運びもすぐに慣れて、それぞれに網で探る。「いたいた。捕れた、とれた」の声に網を覗けば、フナ、ドジョウ、アメリカザリガニなどなど。

およそ1時間川の中をジャブジャブ。バケツの中も賑やかになった。

岸辺に上がり捕れた生きものの確認と説明を実施。今年はコオイムシが十数匹捕れ、卵を背負ったオスも5、6匹見られ感動。しかしながら、特定外来生物のカダヤシが多く、オオクチバスが、稚魚ながら一匹いたのはちょっと心配。自ら捕え、捕れたものを真近かで見、手で触っての観察。皆さんにはいい体験となったことでしょう。最後にみなさん一斉にお魚にバイバイ。橋の上から川に逃がして本日の終了。

指導員の一人が知り合いのママに、「川、おもしろいよ」と声かけをしてくださり、それが次々に伝わって若いママとその子たちで、いつもより大勢の観察会となった。

【観察できた生きもの】

カダヤシ、フナ、スミウキゴリ、ドジョウ、ヤリタナゴ、ヌマエビ、オオクチバス、アメリカザリガニ、モクズガニ、トノサマガエル、シジミ、イシガイ、マツカサガイ、カワニナ、イシマキガイ、コオイムシ、ハグロトンボ(ヤゴ)、シオカラトンボ(ヤゴ)

以上

【観察会の様子】



【左】お母さんが友達を誘って参加。受付も賑やか…(^o^)

【右】始めのお話



【行事名】 実り近し秋の野山探検 ● 武豊ブロック主催

【日時】 2014年(H26)9月14日(日) 9:30~11:40

【場所】 武豊町 別曾池公園周辺

【天気】 快晴

【担当】 鈴木樹、畠

【参加者】 一般 7人 (大人4人 小人3人)

指導員：7人 鈴木樹、畠、浅井一、榊原正、森田博、牧野、畑中 (畠

記)

【内容】

快晴のさわやかな秋日和。「観察会にはもったいない」とは言うはずもないが、それにしても最近にないすばらしい日となった。

今日の行程と注意事項を話し、ツクツクボウシの鳴き声をする中を出発。クズの花の甘い香り、ウスバキトンボの群翔、たわわに実った柿など秋の風物に接しながら進んだ。

田の脇の排水路を覗くと何やらうごめいている。タモを入れて反対側から追いこむ。なんと、ドジョウの子どもとメダカが入り歓声があがった。子どもたちはバッタ類、カマキリ、キチョウ、ウスバキトンボなどを追って賑やか。

山影の道路、今年は脇の下草が刈ってある。果たしてあるかナンバンキセル？とありました。ありました。奥まったところのススキの根元に十数本が林立。独特の赤紫色とマドロスパイプを立てたような特異の姿。今年もこの植物に会えて安堵。

休耕田でワラビが採れていたところ、何と来月から埋め立てを始めるとの立看板。面積4千7百余平米。廃棄物でないことを祈る。周囲の山も削られる雰囲気であり、また一箇所、自然豊かな里地里山が消えて行く。

コナラの実やエノコロの穂を摘みながら出発点に帰着。お子たちの「いろいろのものに会えて楽しかった」の感想に、指導員も和んだことでした。

<観察できた実や植物>

クズ、ヌスビトハギ、メドハギ、エノコロ、キンエノコロ、アメリカセンダングサ、ナンバンキセル、イノコヅチ、アメリカミズキンバイ、キツネノマゴ、マメアサガオ、ホシアサガオ、ママコノシリヌグイ、ヒヨドリバナ、イタドリ、ヌルデ、ウド、マツヨイグサ(オオ、メ)、クサキ、ほか

コナラ、ノブドウ、ハゼ、カクレミノ、ミツバアケビ、ヤシヤブシ、ヘクソカズラ、ヤマノイモ、ノアズキ、イバラ、ほか

<観察できた虫>

ウスバキトンボ、ノシメトンボ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ、キチョウ、アカタテハ、ウラギンシジミ、モンキアゲハ、アオバハゴロモ、オンブバッタ、オオスズメバチ、イナゴ、キチキチバッタ、ツチイナゴ ミイデラゴミムシほか

以上

【観察会の様子】



【左】 始めの話 ※最後の写真と陰を見比べてみよう
ここで相当な時間を使う

【右】 子どもたちは動物大好き。

【行事名】 遙か渡って来た鳥たちを見よう ● 武豊ブロック主催

【日時】 2014年(平成26)11月16日(日) 9:30~11:40

【場所】 武豊町 旧名古屋市野外教育センター南

【天気】 快晴

【担当】 古川、伊藤伸

【参加者】 一般 10人 (大人7人 小人3人)

指導員: 7人 古川、榊原正、森田琢、牧野、鈴木汎、畠、伊藤伸 (畠 記)

【内容】

初冬の穏やかな日に恵まれた。こういう日を小春日和というのでしょうか。この春名古屋市野外活動センターが閉鎖され、今年は路上駐車となった。しかし車の通行が少なく大型車も通らないこともあって、道幅の広い所を選んで駐車、何とか支障なく過ごせた。

モズの高鳴きに始まってヒヨドリ、メジロが、道沿いの赤や白の実を付けた木々で賑やか。少し行くと電線にツグミが3羽。スコープを合わせてじっくり見る。「茶色と白と黒の模様。ピンと立っていて顔が鋭い」と小学生の女の子の声。途端に大人の皆さんが「どれどれ」と寄って「あれがツグミか・・・」と。上空ではカラスが何か追い払っているような飛翔。と、その先に尾の長い鳥が攻撃をかわしながら飛んでいる。「チョウゲンボウです」と古川指導員。猛禽類の出現に皆さん興奮。

やがて田んぼや畑が広がっている所に出た。スコープでじっくり探す。刈田の中にケリが4羽。その手前のすっきり葉を落とした中位の柿の木にふわりと鳥が止まった。焦点を合わせると何と今度はノスリであった。じっとして、全員しっかり観察できた。

伝蔵池ではアオサギ、コサギ、カイツブリ、コガモ、ウ、イソチドリなど。

折り返しての水路沿いでは、セグロセキレイとハクセキレイが何頭も水路内や道を、ちよろちよろ、ちよろちよろと歩いて、我々を案内。上空を今度はハイタカが大きく旋回。

新池ではカワセミが池の縁に沿って飛び立ち、綺麗な色を披露。鹿の子模様の幼鳥ゴイサギも池に伸びた木の枝でジッとしていた。猛禽類が3種、ケリ、カワセミ、イソチドリなど、普段あまり目にしない鳥たちに会えて、皆さん満足された様子。子どもたちには今日の感激がずっと残って行くと願う観察会でした。

【観察できた種】

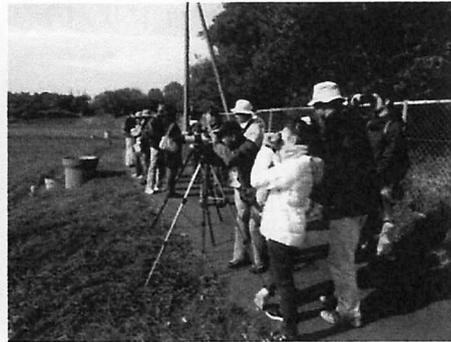
ツグミ、モズ、チョウゲンボウ、メジロ、ヒヨドリ、アオサギ、キジバト、キジ、ジョウビタキ、ノスリ、ケリ、シロハラ、カワラヒワ、カイツブリ、コサギ、コガモ、イソシギ、スズメ、ハシボソ・ハシブトカラス、キジ、セグロ・ハクセキレイ、ヒバリ、アオジ、カワウ、ゴイサギ、カワセミ、ハシビロガモ、ムクドリ、ウグイス、カルガモの計32種 +モンキチョウ、ヒメアカタテハ

以上 (記: 畠)

【観察会の様子】



【左】 始まりのお話



【右】 遠くのアオサギを観る。草むらに隠れてしまった



【左】 伝蔵池での観察の様子



【右】 指にタンポポの“金の指輪”をつけてちょっと嬉しい

【観察会の様子-追加】

2014(H26)年（1月～12月）受託観察会 I

※前年度中に受託し新年度の年間計画に記載された観察会

※テーマ欄の●印…主催者名

No	年	月	日	曜	種	担当	テーマ●印…申し込み先(電話番号は欄外を参照)	集合場所	担当指導員(問合せ先)
1	14	3	16	日	受募	常滑	「朽木の生き物を探そう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園 P9:30	森田琢(0569-42-1708)小島
2	14	4	20	日	受募		「春の花を訪れる虫たち」●大曾公園事務所	大曾公園 P9:30	中井三(0569-42-2021)平松俊
3	14	6	22	日	受募		「雨上がりのキノコ」●大曾公園事務所	大曾公園 P9:30	降幡(0569-43-8060)中井三
4	14	8	3	日	受募		「ミツバチ牧場で蜂蜜絞り」●大曾公園事務所500円/家族	大曾公園 P9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
5	14	10	12	日	受募		「秋の虫を観察しよう」●大曾公園事務所	大曾公園 P9:30	森田琢(0569-42-1708)平松俊
6	14	11	9	日	協力		「親子で遊ぼう-自然物で工作」(クラトコ) ●大曾公園事務所	大曾公園9:00(開店10:00)	森田琢(0569-42-1708)中井三
7	14	1	12	日	受託	大府	「森の研究室⑬野鳥の生態Ⅳ」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
8	14	2	2	日	受託		「森の研究室⑭野鳥の生態Ⅴ」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
9	14	2	23	日	受託		「森の研究室⑮朽木にすむ虫たち」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
10	14	3	9	日	受託		「森の研究室⑯野鳥の生態Ⅵ」●二ツ池セトナ	二ツ池セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
11	14	4	13	日	受託		「セトナ森の研究室①植物おもしろ講座」●セトナ	セトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
12	14	5	11	日	受託		「セトナ森の研究室②野鳥おもしろ生態Ⅰ」●セトナ	セトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
13	14	5	18	日	受託		「セトナ森の研究室③昆虫おもしろ講座Ⅰ」●セトナ	セトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
14	14	5	25	日	受託		「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
15	14	6	1	日	受託		「虫花樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森管理事務所 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
16	14	6	22	日	受託		「セトナ森の研究室④キノコ探検隊Ⅰ」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
17	14	7	20	日	受託		「虫花樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森管理事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
18	14	7	25	金	受託		「セトナ森の研究室⑤灯火に集まる虫さん」●セトナ	セトナ 19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
19	14	7	26	土	受託		「境川の観察と水質調査」●大府市神田公民館・環境課	大府市神田公民館 9:30	門脇(0562-46-6807)浅井
20	14	8	3	日	受託		「セトナ森の研究室⑥昆虫おもしろ講座Ⅱ」●セトナ	セトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)門脇
21	14	8	17	日	受託		「夏のいきもの」●大府市環境課	健康の森管理事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
22	14	9	14	日	受託		「石ヶ瀬川の生き物調査と水質検査」●大府市環境課	石ヶ瀬児童老人福祉センター 9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇浅井
23	14	9	27	土	受託		「セトナ森の研究室⑦秋の夜の虫たち」●セトナ	セトナ 17:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
24	14	9	28	日	受託		「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	みどり公園事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
25	14	10	5	日	受託		「セトナ森の研究室⑧キノコ探検隊Ⅱ」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋

26	14	10	12	日	受託	大府	「セトナ森の研究室⑨どんぐりを知ろう！」●セトナ	セトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)門脇
27	14	10	19	日	受託		「虫花樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
28	14	11	2	日	協力		「ミニ自然観察会」セトナフェスタで数回●セトナ	セトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
29	14	11	16	日	受託		「セトナ森の研究室⑩野鳥おもしろ生態Ⅱ」●セトナ	セトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
30	14	11	23	日	受託		「セトナ森の研究室⑪小枝ワークリースなど」●セトナ	セトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
31	14	12	7	日	受託		「セトナ森の研究室⑫野鳥おもしろ生態Ⅲ」●セトナ	セトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
32	14	1	25	土	受募	知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察をする」●梅の館	知多市梅の館9:30	古川(0569-73-6078)吉房
33	14	2	1	土	受募		「雑木林の中にある朽木や落ち葉に生活する生きもの」●梅の館	知多市梅の館9:30	神野(0562-34-3964)山田絹
34	14	2	8	土	受託		「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察をする」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	神野(0562-34-3964)吉房
35	14	4	19	土	受募		「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	梅の館9:30	金内(0562-55-8614)吉房
36	14	5	10	土	受託		「春の野草と虫さん」●地域文化センター	地文セ9:30	霜鳥(0562-55-1620)吉川勉
37	14	5	17	土	受託		「企業緑地の生き物①」●知多市環境政策課	東邦ガス緑浜工場9:30	中井康(0569-43-0884)南川
38	14	6	13	金	受託		「灯火に集まる虫とホタルの観察」●地域文化センター	旭公園北P19:00	平田(0562-55-9696)大川
39	14	6	20	金	受募		「佐布里のヘイケボタルの観察①」●梅の館	梅の館19:30	小島(0569-42-4537)吉房
40	14	6	21	土	受募		「佐布里のヘイケボタルの観察②」●梅の館	梅の館19:30	平田(0562-55-9696)吉房
41	14	6	28	土	受託		「海辺の生き物を観察しよう」●地域文化センター	新舞子海岸WC隣P9:30	森田博(0569-87-0275)平田
42	14	8	1	金	受託		「企業緑地の生き物②」●知多市環境政策課	JX日鉱日石エネ9:30	南川(0569-42-5382)沖田
43	14	9	6	土	受託		「水田や水路の生き物を観察」●地域文化センター	地文セ9:30	吉川勉(0569-43-1501)小島
44	14	9	27	土	受託		「企業緑地の生き物③」●知多市環境政策課	LIXIL知多営業所9:30	中井康(0569-43-0884)吉房
45	14	10	19	日	受託		「身近にあるキノコ」●地域文化センター	旭公園北P9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
46	14	11	8	土	受募		「木の実枝落ち葉で工作」●梅の館(※中止)	梅の館9:30	山本(0562-56-3952)山田絹
47	14	11	22	土	受託	「企業緑地の生き物④」●知多市環境政策課	中部電力火力発電所9:30	沖田(0562-55-7250)平田	
48	14	4	5	土	受募	東浦	「春の野山を見よう」●東浦町環境課	東浦高校正門前9:30	岩本(0569-58-0952)竹内秀
49	14	4	19	土	協力		「自然物で工作」(於大まつりに出店)●東浦町	このはな館9:00～出店準備	竹内秀(0562-83-9023)
50	14	5	17	土	受募		「閃光するヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
51	14	6	14	土	受募		「明德寺川の中をのぞこう」●東浦町環境課	うのはな館P9:30	田中央(0562-34-6040)山田公
52	14	7	5	土	受募		「初夏の生き物」●東浦町環境課	自然環境学習の森P9:30	水野恭(080-3648-4467)桑原
53	14	10	11	土	受募		「身近にあるキノコを見つけよう」●東浦町環境課	高根の森P9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡

54	14	11	1	土	受募	「森の宝物で工作」参加費100円●東浦町環境課	於大公園このはな館9:30	山田公(0562-83-3297)田中央	
55	14	1	25	土	受託	東海	「身近な野鳥を観察しよう」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園動植物資料館9:30	岩崎(052-601-5504)神野
56	14	5	24	土	受託		「ヒメボタルを見よう」●東海市施設管理協会参加料100円	上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992)岩崎
57	14	7	5	土	受託		「オオケマイマイを見よう」●東海市施設管理協会参加料100円	しあわせ村玄関前9:30	原(0569-72-2377)吉川洋
58	14	7	26	土	受託		「竹を使って遊ぼう」●東海市施設管理協会参加料100円	大池公園多目的室9:30	山本辰(0562-56-3952)平田
59	14	10	12	日	受託		「公園のキノコ」●東海市施設管理協会参加料100円	大池公園多目的室9:30	吉房(0569-43-8060)村瀬
60	14	11	1	土	受託		「森の宝物で工作」●東海市施設管理協会参加料100円	大池公園P9:30	平田(0562-55-9696)早川
61	14	2	22	土	受託		半田	「任坊山の冬-朽ち木の中の生き物」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30
62	14	6	14	土	受託	「亀崎海岸の生き物観察」●半田市環境課 参加料100円		亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤美
63	14	7	19	土	受託	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課 参加料100円		旧市営プールP 19:00	榊原靖(0569-21-3497)山田和
64	14	8	2	土	受託	「稗田川平地川の生き物観察」●半田市環境課 参加料100円		乙川東小学校P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
65	14	8	24	日	受託	「矢勝川の生き物観察」●半田市環境課 参加料100円		修農公民館9:30	榊原靖(0569-21-3497)鈴木汎
66	14	3	9	日	受募	美浜	「冬鳥と旅鳥カワウの子育観察」●美浜町環境保全課	美浜町体育館正面玄関9:30	岩井(0569-87-5661)神谷
67	14	5	24	土	受募		「山で発見ヒメボタル」●美浜町環境保全課	美浜町時志観音P21:30	百合草(0569-82-2354)永田寛
68	14	6	14	土	受募		「海辺の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町富具崎港P9:30	森田博(0569-87-0725)森田琢
69	14	7	12	土	受募		「干潟の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町奥田農協P9:30	森田博(0569-87-0725)森田琢
70	14	9	6	土	受募		「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	美浜町布土公民館P9:30	斉藤(0569-82-3922)榊原靖



【行事名】 「ミツバチ牧場で生態観察と蜂蜜絞り」 大曾公園事務所主催

【日時】 2014年8月3日(日) 9:30～11:00

【場所】 常滑市大曾公園

【天気】 小雨後曇り

【担当】 森田琢・降幡

【参加者】 一般10名(大人5名、子供5名)

(指導員：森田琢・降幡・榊原正・岩本・古川・牧野・柴山・赤石)

【内容】

集合時刻前後は僅かに小雨が降っていましたが、終日曇り空の蒸し暑い観察会になりました。園内のミツバチ牧場は大曾公園(岩間造園)が「新海養蜂場」に委託して運営しています。公園での蜂蜜絞り体験行事は今年も数回行われており、今回は知多自然観察会が協力させていただきました。

蜂蜜絞り体験に先立ち、セイヨウミツバチの生態を知ってもらうため「水飲み場と給水行動」を観察しました。夏場の給水は巣を冷やしたり、幼虫に餌を食べさせる時に使われます。蜜蜂の役割り分担や蜜蜂のダンス等について話題を提供した後、10時頃から蜂蜜絞りの実演を見せて頂きました。

巣箱から巣棚(巣礎)を取り出し、燻煙、蜜蝋の掻き取り、遠心分離、異物除去フィルタリング、試食はいずれも興味深く参加者から歓声が上がっていました。絞った蜂蜜は小瓶に詰めて頂き、家族毎に一瓶500円で分けてもらいました。終了予定時刻には30分程早かったのですが、暑さ疲れや子ども達の様子を見て観察会を閉会しました。来年度への継続期待の声も多々聞きましたのでさらに一工夫したいと思います。(記・森田)

【観察した生き物】

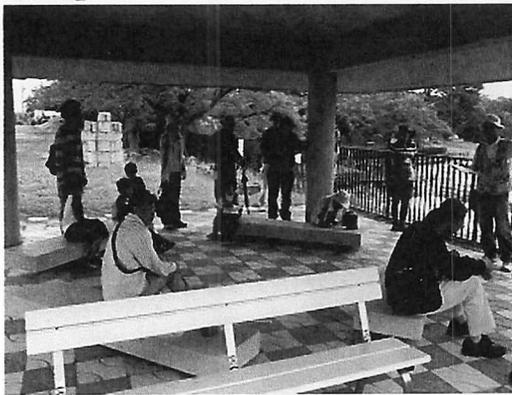
◎植物

ミソハギ、アゼトウガラシ、ヘクソカズラ、ハス、サルビヤ、ヒマワリ

◎昆虫

セイヨウミツバチ、ナナホシテントウ、ニイニイゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、キリギリス、マメコガネ、オオシオカラトンボ?、シオカラトンボ、シオヤアブ、オオホシカメムシ?、クルマバタモドキ、ダニの仲間

【観察会の様子】



【左】不安定な天気、東屋で開会式



【右】養蜂箱の全景



【左】煙でミツバチの動きを鈍らせ巣板を取り出し
察



【右】巣板に付いたミツハチを観

【行事名】 親子で遊ぼう-自然物工作(クラトコ) 主催:大曾公園

【日時】 2014年11月9日(日) 09:00~13:00

【場所】 集合:大曾公園P クラトコ会場

【天気】 小雨

【担当】 森田琢、中井三(欠)

【参加者】 来客購買者 約55名
(指導員4名: 森田琢、牧野、平田、榊原正)

【内容】

昨年まで実施してきた自然物工作・自然観察会は参加者が年々少なくなってきたので、今年はクラフト常滑(クラトコ)会場へ場所を移し模様替えをしました。

クラトコは今年で第6回を迎え年々訪れる家族連れが増え盛況になっています。クラトコ会場はクラフト作家(33名)やフード店(8店舗)が運営する広場ですが、会場を提供する大曾公園(岩間造園)のブーステントを半日間借りして行事を実施しました。

親子で作って遊べる「ゴム銃」「紙鉄砲」「ぶんぶん独楽」、展示即売する自然物工作作品「どんぐり茸」「どんぐり芋虫」「花かご」「栗スプーン」「どんぐり小物類」をメニューにして開設しました。開設間際から小雨が降り出し不安になりましたが、意に反して親子連れ、友達仲間の女性客などが次々と訪れブースは大忙しになりました。遊び道具、即売商品が間もなく底をつき在庫補充に走る有様でした。13時頃から雨脚が強くなり客足も少なくなってきましたので予定を早めて閉会・閉店しました。思いの外賑やかで楽しい行事に出来たのは、遊び道具や展示即売品を提供しご協力頂いた会員および関係者の尽力の賜物です。

(記・森田琢)

【観察した生き物】

◎植物

自然物工作の素材:タケ類、どんぐり類、樹木の果実と草花類

【観察会の様子】



【左】 ゴム銃作り



【右】 的当て遊び



【左】 紙鉄砲作り



【右】 的当て遊び

【行事名】 野鳥のおもしろ生態VI

【日時】 2011年3月9日(日) 9:30~11:30

【場所】 大府市 二つ池公園セレクトナ

【天気】 晴れ

【担当】 大嶋 村瀬

【参加者】 一般 5名 (大人 2名, 子供 3名)

(指導員: 大嶋、村瀬、吉川洋、今西、門脇、浅井、竹内秀)

【内容】

今年度最後となる5回目の「野鳥のおもしろ生態」。ホールで野鳥についてのクイズを10問、そして、野鳥ビンゴのカードを書いたのちに出発です。クイズは知っているようで???の問題もあり、全問正解はなかなか難しいものでした。ビンゴカードには、今日見られそうな鳥を20書きます。はじめは、セレクトナ前のデッキから増田池のカモ類を見ます。と、左から右、右から左と青い宝石が直線に空を飛びます。「カワセミだ!」それもつがいのようです。スコープの画面の中には2羽が少し離れて入り、最初からちょっと得した気分です。気分良くさあ出発!!と、いつものように増田池から平戸池を経て一周するコースで、林の中の鳥や水辺のカモ類などを観察しました。ヒサカキの花が咲き始めているのを見て「ガスのにおいしない?」といった会話をしながら進みます。カワズザクラがちらほら咲き始めたり、紅梅のつぼみがほころびかけていたり、春の色が野に広がってきているのを感じました。タンポポの花、キチョウが舞い、ハート形の点を付けたナミテントウも発見。マガモ、コガモ、はたくさんいるのに、いつもいるはずのサギ類、セキレイ類がないのも珍しいね。という声が聞かれました。最後に、ビンゴをしながら見られた鳥を数えたところ、17種類で最低記録を更新しました。こういうときもありますね!! (記・竹内秀)

クイズ (一部です)

Q1 日本国内で約500種の野鳥が観察されていますが、過去10年間でセレクトナで観察された鳥は何種類?

- 1 30種類 2 60種類 3 90種類

Q2 鹿児島県に到着したツバメが東京に到着するのはいつ頃?

- 1 10日後 2 20日後 3 30日後

Q3 70円ふつう切手に描かれている鳥は?

- 1 シジュウカラ 2 ヤマガラ 3 コガラ

Q4 現在JR八戸線で運行されている鳥と同じ名前の鳥は?

- 1 ユリカモメ 2 ウミネコ 3 カモメ

Q5 キジを「都道府県の鳥」に指定しているのは、岩手県ともう一つはどこ?

- 1 佐賀県 2 栃木県 3 岡山県

答えは一番下へスクロールしてね! あなたはいくつできたかな? (大嶋作)

【観察した生き物】

◎植物

ヒサカキ、カワズザクラ、アセビ、ビワ、(花)

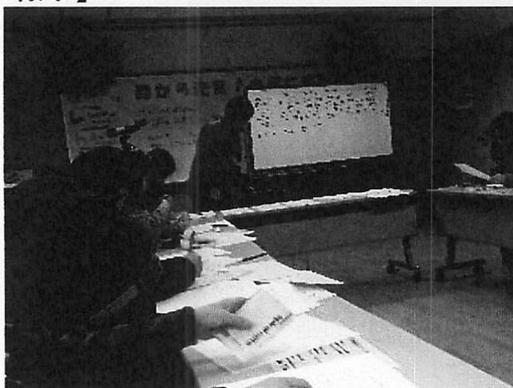
◎昆虫

ナミテントウ、キチョウ、カマキリの卵、イラガの殻

◎鳥

カワウ、マガモ、コガモ、カルガモ、ヒドリガモ、バン、カワセミ、キジバト、コゲラ(声)、ハクセキレイ(観察会前にいた)、ヒヨドリ、シロハラ(声)、ツグミ、メジロ、ホジロ、スズメ、ハシボソガラス、(計17種)

【観察会の様子】



【左】 本日の見どころ解説



【右】 林の中の観察風景

【行事名】 「植物おもしろ講座」二つ池セレトナ

【日時】 2014年4月13日(日) 9:30~11:30

【場所】 大府市 二つ池公園 セレトナ

【天気】 曇り

【担当】 吉川洋、村瀬

【参加者】 一般 およそ30名

(指導員：大嶋、村瀬、吉川洋、今西、浅井一、原、竹内秀)

【内容】

セレトナの会議室で春の植物の説明をしてから出発。サクラの花びらでピンクになった林から出発。パンジーや葉ボタンの花を味わったり、サクラの花の蜜をなめてみたりしながら進みます。ユキヤナギの花のにおいが青臭かったり、ホトケノザの花の蜜をなめて小さな音の笛にしたり、五感をフルに働かせながら新芽の透き通った緑の中を歩きました。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎植物

セイヨウタンポポ、トウカイタンポポ、シロバナタンポポ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、オニノゲシ、ノゲシ、オニタビラコ、ホトケノザ、オオイヌノフグリ、ミツバツツジ、ユキヤナギ、ナズナ、ハコベ、シロツメクサ、

◎昆虫

アブラムシ仲間、カイガラムシの仲間、スズメバチ仲間

◎鳥

シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリ、スズメ、コゲラ

【観察会の様子】



【左】 はじめの説明



【右】 コウモリ発見



【左】 コウモリ



【右】 はなびらみつけた

【行事名】 「セレトナ森の研究室③昆虫おもしろ講座」 ●二つ池公園 セレトナ

【日時】 2014年5月18日(日) 9:30~11:30

【場所】 大府市 二つ池公園 セレトナ

【天気】 晴れ

【担当】 吉川洋、村瀬

【参加者】 一般：12名(大人5名、子供7名)

(指導員：吉川洋、村瀬、今西、浅井一、門脇、竹内秀)

【内容】

晴れ渡りそよそよ風の吹く気持ちのいい五月晴れ、何組もの親子連れの参加者があった。セレトナの会議室で20分ほど、危険な植物・昆虫や、ツマキチョウの幼虫・ホタルガの幼虫など身近に見られる虫と見つけるポイント、道筋の説明。その後、室外に出て森や草原で採集と観察を行った。エゴノキ花の散ったあとを歩き、落ち葉をめくるとモリチャバネゴキブリやザトウムシ、ヤスデがでてきて、お宝探し。お宝のいるところは自然が豊かなことを教わる。ホタルガの幼虫が上から見ると「ネコバス」にみえたり、オビカレハの幼虫がテレビアニメ(いもむし)ニッキの彼女のモデルであることを確認したりして森の中を進んだ。平戸池の草原ではイトトンボも捕まった。アゲハやアオズミアゲハが飛ぶのにタモで必死に子供たちが追いかけるが蝶の方が少しうわて?修行を積んだら捕まえられるようになるよ。とその場を離れた。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎バッタ・キリギリス

ヤブキリ・ヒメギス・クサキリ・ツユムシなど子供がたくさん

◎チョウ・ガ

モンキチョウ・ヤマトシジミ・モンシロチョウ・キチョウ・アゲハ・キアゲハ・ゴマダラチョウ・ホタルガの幼虫・オビカレハの幼虫

◎トンボ

アジアイトトンボ

◎その他の昆虫

ヨコズナサシガメ・アオカメムシ・マルカメムシ・モリチャバネゴキブリ・ナナフシモドキ・シロテンハナムグリ・ショウカイボンシ・キマワリ・ゴミムシダマシ・ハムシの仲間

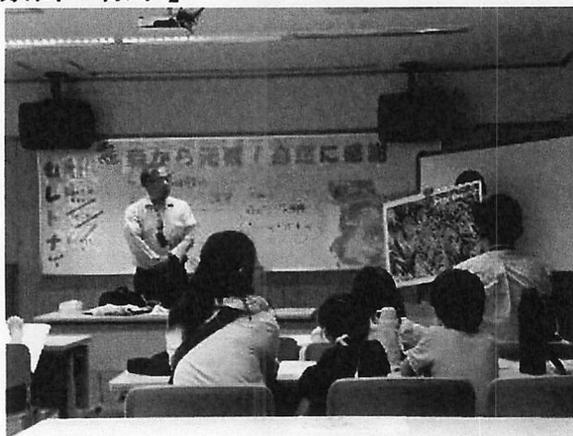
◎鳥

シジュウカラ・エナガ・カワラヒワ・ハシブトガラス・ヒヨドリ・ムクドリ・ツバメ・カルガモ・スズメ

◎その他

ダンゴムシ(オカダンゴムシ)・ザトウムシ・ゴミグモ・ハシリグモの仲間・マクラギヤスデ・ムカデ・トカゲ・モグラ(カブトムシの幼虫を食べに来た痕跡)

【観察会の様子】



【左】 この時期みられる虫を解説



【右】 観察・採集風景

【行事名】 「佐布里池に集まる野鳥を観察する」 主催「梅の館」

【日時】 2014年1月25日(日) 9:30~11:30

【場所】 知多市梅の館

【天気】 晴れ

【担当】 古川・吉房

【参加者】 一般 大人3名、子ども5名

(指導員：古川・吉房・大野・榊原正・中井康・山田絹・平田・森田博・降幡)

【内容】

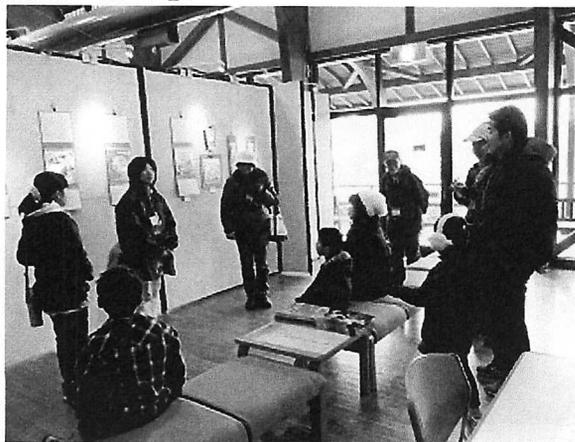
暖かく好天に恵まれ、沢山の野鳥を観察することができた。初めにカワラヒワの鳴き声に気づいた古川さんの説明に、参加者は目と耳を働かせて、熱心に野鳥を探した。個人で持ってきた望遠鏡で野鳥の様子を見たり、古川さんのセットした望遠鏡で身近に見たりすることができた。参加者の家族の中に、子供さんが幼い頃から毎年参加している方がいて、子供さんが思いがけないところにいる野鳥を見つけ、カメラに納めていた。継続することのすばらしさを感じた。2時間で21種類の野鳥を確認することができ、「次回も是非参加したい。」という声にやりがいを感じた。一番早く咲きそうな梅の蕾から紅色の花びらがのぞいていた。(記、吉房)

【観察した生き物】

◎野鳥

カワラヒワ、ホオジロ、シジュウカラ、ツグミ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、アオジ、シロハラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハクセキレイ、マガモ、カイツブリ、カワウ、カルガモ、キジバト、ミサゴ、カシラダカ、モズ、コゲラ、メジロ、

【観察会の様子】



【左】 開始の挨拶



【右】 早速、野鳥確認



【左】 メジロ、シジュウカラ、ツグミがお迎えの確認



【右】 最後に見られて鳥

【行事名】 「東邦ガスのビオトープ」・・・知多市自然調査隊 (知多市環境政策課)

【日時】 2014年5月17日(土) 9:30~11:30

【場所】 知多市東邦ガス知多緑浜工場内のビオトープと森

【天気】 快晴

【担当】 中井(康)・南川

【参加者】 31名 大人男子19名・女性12名 (内子供2名)

内訳(命をつなぐプロジェクトの学生実行委員会から27名) 男子17名・女子10名
知多市関係者2名・東邦ガス関係者2名

(指導員: 中井(康)・古川・吉房・沖田・吉川(勉)・平田・南川)

【内容】

主催者の知多市環境政策課から今年度の知多市自然調査隊の取組みは、過去は海岸であった海を埋立て各企業の自然環境づくりへ取組み人工森林が出来た。今回の東邦ガス緑浜工場は南5区に埋め立てられた土地にビオトープの池と人工の森内で自然観察会を行ない埋立地の場所でも自然の環境生かせばそれなりに生物多様性の人工の森が出来るということを見て感じて下さいとの挨拶があった。東邦ガス社からは「地球に優しい環境への取り組み活動」・ビオトープの成り立ちから現在までの経過をビデオで紹介があり、その後、観察時の注意事項と観察の仕方を説明後6グループに分かれてビオトープ回りと森周辺の生き物、植物の観察に入る。展望台下の草地のオオキンケイギクの花が咲き次第に繁殖しそうなどところがあり気にかかる。池端の小高い所に作られた野鳥の観察小屋があり観察しやすい様に配慮されていた。マメナシの木には小さな実が付いて一部枯れ枝があり、樹勢が少し衰えかけていたのが気になる。造成後14年目を向かえたこの緑地の変化を感じた観察会が体験できた。

(記・南川)

【観察した生き物】

◎植物

ヤマモモ・グミ・カクレミノ・シャリンバイ・オオヤシャブシ・マメナシ・クロマツ・サンゴジュ・ツバキ・ガマ・コガマ・ヒメガマ・アシ・クスノキ・ハンノキ・スタジイ・マサキ・カクレミノ・エゴノキ・ニワセキショウ・スズメノヤリ・チチコグサモドキ・メタセコイア・ツバキクズ・ヤブツバキ

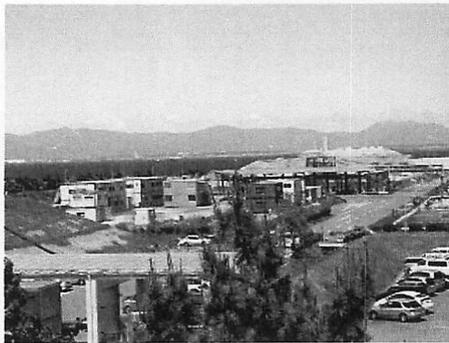
◎鳥

カラス・キジバト・ツバメ・オオタカ・ヒヨドリ・カワラヒワ・セッカ

◎その他

ウシカエルのオタマジャク・クマバチシ・アシナガバチ・ニホンミツバチ・マメカメムシ・シジミチョウ・ツバメシジミ・モンシロチョウ・アオスジアゲハ・ヒメマツモムシ・オビカレハシオカラトンボ・アジアイトトンボ

【観察会の様子】



【左】 東邦ガス工場の緑地展望台からの写真



【右】 観察地の経緯と現状の説明



【左】 出発前のグループ分けと注意点の説明

分類	確認種数	
	2004年	2010年
昆虫類	100種(63科)	140種(80科)
鳥類(上空通過含む)	20種(15科)	17種(15科)
底生動物	18種(15科)	23種(19科)
両生類	2種(2科)	1種(1科)
哺乳類	1種(1科)	1種(1科)

チョウトンボ ショウリョウバッタ (鳥)

【右】 この森と池に生息する生き物の経緯

【観察会続き】

【行事名】 「企業緑地の生き物③LIXIL構内」 ●知多市環境政策課主催

【日時】 2014年9月27日(土) 9:30～11:30

【場所】 知多市LIXIL構内

【天気】 晴れ

【担当】 中井康・吉川勉

【参加者】 大人9名 子供8名 環境政策課：村上・相武 LIXIL：多数
(指導員：中井康、吉房、南川、平田、沖田)

【内容】

好天に恵まれ、下見より遙かに多くの生き物を観察した。大人の方も子供も大変熱心で、モンキチョウ、バッタ、ウスバキトンボ、テントウムシ等を捕らえて、大喜びである。途中、オッタチカタバミで10円玉をみがいたり、笹舟、笹の飴、ツバキの草履等を作ったりした。草履については、現代の子は分からないので、お母さんが「草履はサンダル」と説明して下さって助かった。グリーンベルト帯が竹やクスノキ等の大木に囲まれ、日陰になっているので、涼しくて気持ちよく観察することができた。(記：吉房)

【観察した生き物】

◎植物

クスノキ、トウネズミモチ、ギンモクセイ、メタセコイア、ホルトノキ、ツバキ、カイズカイブキ、ニセアカシア、アベリア、アカメガシワ、タケセイタカアワダチソウ、アレチヌスビトハギ、ガガイモ、ススキ、イガクサ、アシボソ、ヨシ、アキノノゲシ、ヒガンバナ、ツユクサ、オッタチカタバミ、オオバコ、スベリヒユ、ニガナ、クズ、セイヨウタンポポ、エノコログサ、カヤツリグサ、クルマバナ、イヌタデ、ヤナギハナガサ、ヤブガラシ

◎昆虫

エンマコオロギ、オンブバッタ、ウスバキトンボ、ナミホシテントウ、ナミアゲハ、モンキチョウ

◎鳥

ハシブトガラス、スズメ

【観察会の様子】



【左】 LIXIL構内の自然解説



【右】 LIXIL構内の自然解説



【左】 現地観察



【右】 虫の写真をとっています

【行事名】 自然物で工作しよう ” 於大まつり工作コーナー” ●東浦町公園緑地課主催

【日時】 2014年4月19日（土） 10:00～14:00

【場所】 東浦町於大公園 このはな館周り

【天気】 晴れ

【担当】 水野恭、竹内秀

【参加者】 一般 100名以上

（指導員10名：田中央、大野、平田、榊原正、山田公、桑原、岩本、今西、水野恭、竹内秀）

【内容】

東浦町於大まつりの一つの企画のお手伝いをした。八重桜がきれいにさいて、心地よい風がそよそよ吹いて、昼ご飯を食べるには木陰のほうがいいかな、思えるような陽気の日。10時からのスタートを待つようにしてお客さんが来た。木の実や貝殻の材料はメールで呼びかけさせていただいて譲っていただいたものばかり。

材料費はどの種目も一式50円で、大野さんにはぶんぶんごま、平田さんには竹の工作、榊原さんには竹のパチンコ、岩本さんには竹のモビールを手とり足とり指導していただいた。木の実の工作は見本を参考に写真立てや動物たちを自由に作ってもらった。

たくさんの木の実があったので、工作をしなくても木の実に興味を持って訪ねられる方や、子供ばかりでなく大人も表札を作るといって素敵な作品を作っていられる方もいた。昼ご飯を食べる間もないくらい、受付終了の1時までの3時間ひっきりなしにお客さんがいた。（記：竹内秀）

【工作コーナーの様子】



【左】 このはな館の西側…パチンコづくり（約60名が制作）はこの左下の木製デッキ
【右】 “ガリガリとんぼ” づくり…ガリガリこすってプロペラが回ると子どもは大喜び

<上-左の写真の部分拡大>



【材料一式50円】【受付】 サンプル…竹かつぼん、水鉄砲、ガリガリとんぼ、カラフルぶんぶんゴマなど

【行事名】 身近にあるキノコを見つけよう（東浦町環境課）

【日時】 2014年10月11日（土） 9:30～11:40

【場所】 東浦町高根の森

【天気】 晴れ

【担当】 村瀬 田中央

【参加者】 19名（うち子ども7名）

（指導員：村瀬 田中央、山田公、岩本、榊原正、浅井一、門脇、古川、牧野、竹内秀）

【内容】

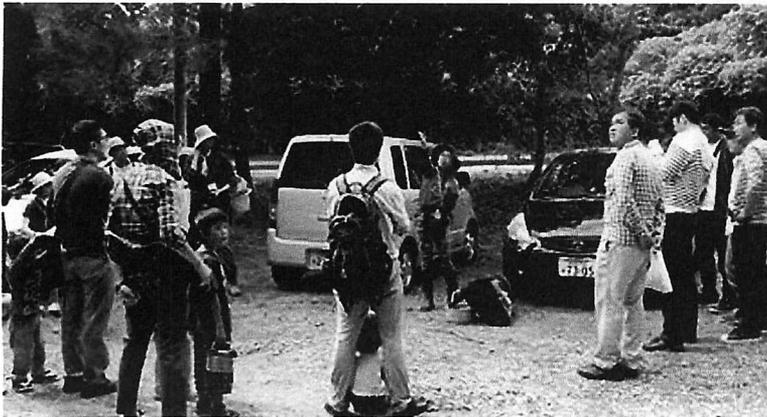
一週間前、台風が来て雨がふり、キノコが出ているかもしれないと期待しての観察会。

「高根の森」は、森が広く樹木の種類もあるので少し期待。

キノコに興味がある大人もたくさん集まりました。キノコの取り方や見分け方の難しさ、変化のおもしろさなどについて話を聞いた後、森の中へ。栗のいがと栗に歓声を上げてしばし野栗拾いを楽しみずんずん進みます。ところが、少し林の中へはいると、思ったより落ち葉のかわいた様子が気になります。全体的にキノコの数が少ないような感じですが、土の上に柿のへたを広げたような形のツチグリや、ホコリタケの幼菌がマッシュルームに似て食べられることや、ノウタケの形が脳に似ているなど、キノコの名前の付き方のおもしろさに先人の観察眼の鋭さを感じ入ったことでした。8月は比較的雨も多かったのに種類が少なく、夏の暑さなのか気候の不純さがこんなところにも影響しているのかと今年も感じました。（記・竹内秀）

【観察した生き物】

【観察会の様子】



【左】キノコの取り方の説明



【右】キノコはないかな



【左】秋の森の様子



【右】カブトムシの幼虫を発見

【観察会続き】

【行事名】 ヒメボタルを見よう ●東海市施設管理協会

【日時】 2014年5月24日(土) 21:30~22:30

【場所】 東海市上野台公園

【天気】 晴れ

【担当】 早川、岩崎

【参加者】 一般 大人24名、子供15名

(指導員：早川、岩崎、平田、浅井一、平松俊)

【内容】

午後9時30分上野台公園駐車場集合。一週間前に公園管理協会（東海市公園管理協会主催の行事）40名募集で40名になりましたので当日よろしくお願ひしますとの電話がありました。川の生き物観察とホタルの観察会は人気の観察会で毎回それなりの人数が参加してくれます。昨年ヒメボタルはかなり出てくれました今年はどうでしょうか？事前に管理協会の方が現地に行ってヒメボタルを捕まえビニール袋に入れて持って来てくれていました。担当者からヒメボタルの説明があり期待をしながら現地に向かいます。前方から、いました綺麗だ、の声が上がっています。昨年と比べて少し少ないようですが見れてよかったですと思います。終わりにホタルを初めて見た人、手を挙げてくださいますと言いますと参加者の約半数の人が初めて見ましたと行っています。ホタルの見えるところが「少なくなっていますね。来年はもっとたくさんのヒメボタルがみれますように期待をし解散しました。（記・岩崎）

【観察会の様子】



【左】 施設管理課長さんのあいさつです
について説明しています



【右】 早川さんが看板の前で

説明しています



【左】 ヒメボタルがあちこちで見つかりました
ています



【右】 最後のまとめをし

【行事名】 竹を使って工作をしよう

●東海市施設管理協会主催

【日時】 2014年7月26日(土) 9:30～11:30

【場所】 大池公園管理事務所 多目的室

【天気】 晴れ

【担当】 山本、平田

【参加者】 (一般) こども7名、おとな6名 (東海市施設管理協会) 2名
(指導員) 山本、榊原正、平田

【内容】

竹はかつて暮らしの中にあふれていた。また吉祥や美の一翼も担っていた。ところがナント、今や周囲の植生を駆逐する厄介者。それでも踏切の遮断機に竹竿を見るとオッ!と思う。(近年殆ど、FRPに変わっているが)。

それはさておきこの行事、大いに盛り上がった。去年は応募者が少なく、中止の憂き目にあったが。

この日、榊原さんが開始早々子どもたちの気持ちをぐっと引き付ける作戦に出たのが功を奏した。それと、作品を「ゴム銃」と「コップ」に絞ったのもよかったようだ。

何とんでも「射的」が人気。まずは屋内の壁際に並べた牛乳パックに紙礫を射る。徐々に的から距離を置いて腕を磨いたら、次は屋外へ飛び出してロープに吊った的を思いっきり狙う。ここでは直径5ミリほどの木の枝を1センチ程の長さで刻んだものを弾とする。飛ぶスピードと方向性が格段に向上し、金属製の的に命中した時のカーンという音が快い。お母さん方も童心に帰って夢中にゴムを引く。

一方、コップ作りは直径数センチの青竹を鋸で切ることから始めるが悪戦苦闘する大人も少なくない。次に切り口の面取りを紙やすりで行うがこの作業がまた大人気、ひたすら磨き続けて時間がたつのも忘れそう。

参加者は「作品と創る楽しさ」をお土産として持ち帰った。

当日はメディアスエフエム (FM83.4) が取材に入るといっておまけも付いた。

(記：平田)

【観察会の様子】



【左】開会のあいさつ



【右】さっそく、ごむ銃＝パチンコづくりが始まった



【左】続いて、竹の切り方→竹コップを作るため



【右】最後はお外でのあて遊び

【行事名】 任坊山の冬-朽ち木の中の生き物 ● 半田市環境課主催

【日時】 2014年2月22日（土） 9:30～11:30

【場所】 任坊山公園

【天気】 晴れ

【担当】 山田和、榊原正

【参加者】 一般： 7家族（20名ぐらい）

指導員： 山田和、榊原正、榊原靖、牧野、大橋、鈴木汎、石川、古川、

降幡、南川

【内容】

先ず始めに、駐車場の一部を貸し切り状態にしてそこで朽ち木の中の虫探しの練習を40分ほどした。練習用の朽ち木は他所の山から持ってきた物である。もっとも、参加者の中には2度目3度目の人が何人もいて瞬く間に朽ち木を上手にバラバラにするなど練習時間の設定は必要なかったかもしれないほどだった。

続いて、公園の林内に移動しその朽ち木の中の虫探しをした。ここでは松喰い虫で枯死した松の朽ち木が目立ちそれをバラし始めたがスズメバチやムカデがあちこちで出てきた。当然のことながら寒いのでスズメバチやムカデはじっとして動かないのでその場でしっかり観察した。もちろん、小さな虫さんなども見つかったのでそれらはあとで一つずつ説明した。

それにしても子どもたちは林内を探検しているがごとく動いていた。普段はこのような道のない林内に入ることはないであろうがみんなが入ってしまえば親が近くにいることも手伝って本来の血が騒ぐのであろう。子どものころの道なき道を進むときのドキドキ感がよみがえる。これも原体験の一つだ。（記：榊原正）

【観察会の様子】



【左】 まずは、サンプルの朽ち木で練習



【右】 次に、実際の林内で本番



【左】 1歳半未満の子も参加（こんなこと初めて…）



【右】 スズメバチ

【行事名】 稗田川と平地川の生き物観察 ● 半田市環境課主催

※この観察会は半田市環境課主催の「環境学習リーダー養成講座-自然観察編^{#1}」を兼ねています

【日時】 2014年8月2日(土) 9:30~11:30

【場所】 集合：乙川東小学校北P

【天気】 薄曇り

【担当】 榊原正、榊原靖

【参加者】 一般：親子で40数名 & 中学生10数名

指導員：古川、田中央、加藤、榊原靖、山田和、門脇、榊原正

【内容】

本観察会と直接関係ないことであるが…当日は朝から観察地点を含めて周辺を乙川中学校の生徒が「川の清掃活動(?)」をしていた。8時半頃には終了したようだったが、本観察会があることを知ってその一部の生徒が参加してくれた。

観察地点は本来ならば葎(アシ)などの草が背丈ほど繁茂し、とても大人数の観察会は不向きなところであったが、今回も事前に環境課の皆さんが草刈りを実施し、快適な環境にしてくれてあった。

川に入った結果は地域の人、リーダー養成講座の受講生、飛び入り参加の中学生の協力もあって大漁であった。

獲物の説明は参加人数が多かったので魚類専用のミニ水族館と魚類以外の水族館を距離を離して設け、参加者をほぼ半分に分け、別々に説明した。当然、参加者は10数分で場所を移動して別の水族館の説明を聞くことになる。

説明は幾つかの種名やその特徴は当然として、触れたい子には(魚にとっては迷惑であるが)しっかり触れてもらうという時間であった。

なお、「環境学習リーダー養成講座」は9:00~9:30が座学、その後は受付の様子から獲物の説明まで一般参加者と同じ活動をして頂くという内容であった。

また、曇りだったので、その分、暑さがしのげて良かったことを付記する。

<本日の特記事項>

お母さんとまだ保育園児ぐらいの子どもバケツをのぞいたらザリガニの赤ちゃん数匹とヒメタイコウチが入っていた。この川では毎年この環境課を始め乙川小や乙川東小の観察会、またそれぞれの下見でも川に網を入れているが、…、ヒメタイコウチは網に入ったことはなかった。昔ならばともかく、昨今ではタイコウチも見かけないほどで、とても、ヒメタイコウチの環境があるとは思っていなかったのがビックリした。

(記：榊原正)

【観察した生きもの】

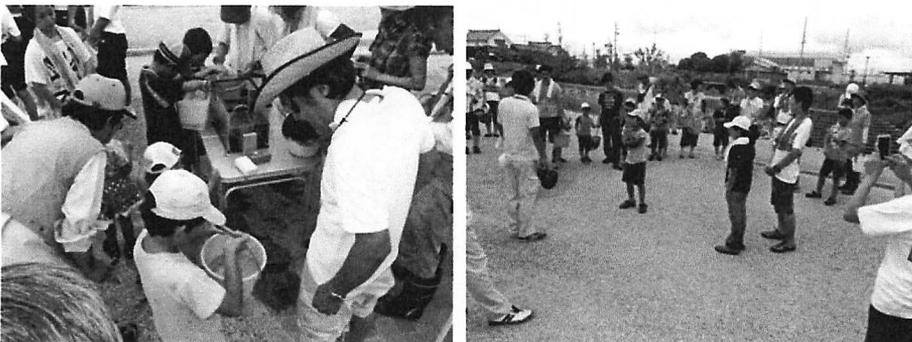
<魚類>ウナギ、コイ、セイゴ、モツゴ、マハゼ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、カダヤシ、メダカ(1匹だけ)、など

<魚類以外>アメリカザリガニ、スジエビ、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、〇〇ガニ、カワニナ、ヒメタイコウチ(1匹だけ)、など

【観察会の様子】



【左】観察地点 向かって右…稗田川 左…平地川 先頭…合流点 草刈り後で展望がよい
【右】こちらの水槽に魚類以外を入れた。子どもはヤリたがるが時間がかかってしまう(^_^);



【左】こちらの水槽に魚類を入れた。どちらの水槽も子どもや大人にも大人気。獲物の多く見応えがよいせい…。
【右】説明後の「触れあいタイム」を強制的に打ち切って、とりあえず主催者の終わりの挨拶。好きな子は残る…。

【観察会の様子-追加】

【行事名】 干潟の生き物 主催:美浜町環境保全課

【日時】 2014年7月12日(土) 9:30~11:45

【場所】 集合:美浜町JAあいち奥田農協P

【天気】 晴れ

【担当】 森田博、森田琢

【参加者】 一般23名(大人9名、子供14名)

(指導員7名:森田博、森田琢、永田孝、浅井一、門脇、大矢晃、中井康)、環境保全課職員3名

【内容】

台風8号一過の穏やかな晴天になりました。一週間前中日新聞にも開催案内が掲載され、8家族23名の一般参加を頂きました。

今回は山王川河口の旧樋門撤去工事と重なり樋門近くの駐車場が使えず、集合場所から河口干潟観察場所まで10分ほど歩きました。

その途上、河岸の野草やチゴガニのウェービング観察を楽しみました。樋門近くの河口干潟ではイソガニ、チゴガニ、ウミニナ類、ソトオリガイなどを採集観察しました。

砂浜干潟へ移動し、危険な生きもの、行動範囲などの注意を促した後、自由に採集を楽しんでもらいました。1時間20分ほどの自由時間に採集観察された生きものは

概ね50種類を超えました。11時20分から採集できた話題性のある生きものについて分かち合いをし、最後に皆で生きものをリリースして閉会しました。

閉会後もいくつかのご家族は楽しさが尽きない様で、海辺に残って遊んでいました。

(記・森田琢)

【観察した主な生き物】

◎植物(河岸の野草)

シロバナハマナデシコ

◎海岸動物

節足動物:イソガニ、チゴガニ、タカノケフサイソガニ、マメコブシガニ、アミメキンセンガニ、ホンヤドカリの仲間、コブヨコバサミ

貝類:ソトオリガイ、アカニシ(卵囊)、アメフラシ(卵塊)、ツメタガイ(卵塊:スナチャワン)、ヒザラガイ、アサリ、マテガイ(貝殻)、カガミガイ(貝殻)

頭足類:アオリイカ(卵塊と幼体)

魚類:メジナ、カゴカキダイ、イシダイ、ニワハゼ、ニジギンボ、ヨウジウオ、ギマ

棘皮動物・刺胞動物・環形動物:ムラサキウニ、マナマコ、スナヒトデ、ミズクラゲ、タマシキゴカイ(卵囊)

◎海藻・海草:アナアオサ、ミル、キョウノヒモ、ミリン、アマモ

◎鳥類:コサギ、カルガモ

【観察会の様子】



【左】山王川樋門から干潟のお話



【右】チゴガニのウェービングを観察



【左】砂浜で採集した生きもの話



【右】話題豊富な分かち合い

【行事名】 布土川の生き物観察 美浜町環境保全課

【日時】 2014年9月6日(土) 9:30~11:10

【場所】 美浜町布土川(河口より約800m上流、平田橋周辺)

【天気】 曇り 気温30℃位

【担当】 斉藤、榊原靖

【参加者】 大人6名、子供3名、他に美浜町2名

(指導員：斉藤、榊原靖、永田孝、永田寛、榊原正、森田博、古川、門脇、浅井、神野、南川、田中央)

【内容】

8月上旬より不安定な天候が続いており、降雨等も心配されたが、好天の下、少し気温は高くなったが好条件の中で実施できて何よりだった。

参加者が少なかったのは残念だったが、確認種は多く、充実した観察会になった。

確認された生物は昨年と同じ位で、魚種は例年より多い方といえる。アユは今回確認できなかったが、昨年同様ウナギが複数個体確認できたこと、婚姻色のヌマムツが確認できたことは特筆される。昨年と同様、今回の観察結果からも、布土川は生き物観察には良好な場所であることが確認できた。次年度以降も観察会を充実させていきたい。(記・斉藤)

【観察した生き物】

◎ 魚類

マハゼ、オイカワ、ヌマムツ(婚姻色あり)、スミウキゴリ、メダカ、カダヤシ、ヨシノボリの一種、ドジョウ、ウナギ(約10~20cm: 3~4個体)

◎ 甲殻類

テナガエビ、ミゾレヌマエビ/アメリカザリガニ、モクズガニ

◎ 昆虫類

シオカラトンボ(ヤゴ)、コガタシマトビケラ(幼虫)、コカゲロウ(幼虫)

◎ 両生類・は虫類

トノサマガエル、ヌマガエル、ウシガエル(幼生)、ミシシッピーアカミミガメ

◎ 貝類

マシジミ、イシマキガイ

◎ 他

ヒル、サギ?の白骨個体(1個体)

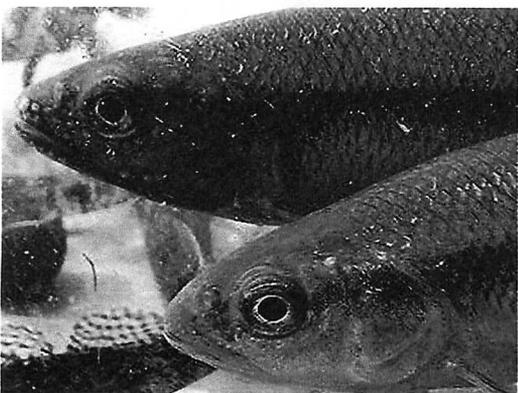
【観察会の様子】



【左】川沿いを橋のたもとまで



【右】思い思いに採集しています



【左】婚姻色が出たヌマムツ



【右】モクズガニのはさみを観察

2014年(1月～12月) 受託観察会Ⅱ

※年度途中で受託した観察会

※ここへの掲載はホームページにアップされた観察会のみ

No	テーマ	主催者	実施日
1	「校内の生きもの観察」	東浦町片葩小学校	(2014. 5. 9)
2	東海市エコスクール 「横須賀新川で生きものを調べよう」	東海市生活環境課	(2014. 5. 10)
3	「日長川の生き物と身近な自然」	知多市旭北小学校	(2014. 5. 19)
4	南知多町荒磯海岸 (まるは前) 「磯の生物観察」	愛知県立瑞陵高等学校	(2013. 6. 13)
5	「フナビオの生き物探検」	東海市船島小学校	(2014. 6. 14)
6	南知多町師崎羽豆岬「海に親しむ会」	師崎小学校	(2014. 6. 26)
7	東海市エコスクール 「加木屋緑地で生きものを調べよう」	東海市生活環境課	(2014. 7. 12)
8	東海市エコスクール 「聚楽園公園の生きもの観察」	平洲保育園	(2014. 7. 26)
9	美浜町奥田海岸 「干潟の生き物に学び自然を大切に」	J A F ・ 日本自動車連盟	(2014. 7. 26)
10	知多市野崎川 「野崎川の生き物観察」	寺本台子供会	(2014. 8. 17)
11	東海市エコスクール 「上野新川で生きものを調べよう」	東海市生活環境課	(2014. 8. 30)
12	東海市エコスクール 「上野台公園の生きもの観察」	東山保育園	(2014. 10. 11)
13	「見つけよう、秋の生き物たち」	知多市旭北小学校	(2014. 10. 14)



【行事名】 磯の生物観察会（瑞穂高校 コスモサイエンスコース1年）

【日時】 2014年6月13日（金） 9:30～11:30

【場所】 南知多町豊浜荒磯松海岸

【天気】 晴れ

【担当】 降幡

【参加者】 名

（指導員：降幡・中井康・平田）

【内容】

この時期は梅雨に入りよく雨が降ることが多いのです。今年は異常気象が予想されている関係か好天に恵まれ、潮もよく引き最適条件でした。生徒さんも楽しみながら有意義な磯の観察が出来ました。生き物の写真をたくさん提供できればよかったですがガイドの方も楽しんでしまい提供できる写真少ないことをお詫び申し上げます（記・降幡）

【観察した生き物】

◎藻類

アカモク、ワカメ、ヒジキ、イロロ、イシゲ、ピリヒバ、キョウノヒモ、マクサ、ミル、アナアオサ、

◎海綿動物

ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン

◎刺胞動物

ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク、ミドリイソギンチャク

◎環形動物

ヤッコカンザシ

◎軟体動物

ヒザラガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ヨメガカサガイ、カラマツガイ、キクノハナガイ、マツバガイ、ウノアシ、イボニシ、スガイ、タマキビ、アラレタマキビ、コシダカガンガラ、アオウミウシ、イソアワモチ、アメフラシ、アメフラシの卵塊、オオヘビガイ、マダコ、ウミフクロウの卵塊

◎節足動物

フナムシ、イソガニ、ウンモンフクロムシ、ヒライソガニ、イシガニ、イワガニ、イワフジツボ、クロフジツボ、ワレカラ類、カメノテ、ヤドカリ類

◎脊索動物 マンジュウボヤ、シロボヤ

◎棘皮動物

イトマキヒトデ、ヤツデヒトデ、クモヒトデ類、ムラサキウニ、サンショウウニ、マナマコ

◎魚類

ダイナンギンポ、ヘビギンポ、アゴハゼ、ミミズハゼ、ナベカ、アサヒアナハゼ？

【観察会の様子】



【左】 観察の様子



【右】 観察の様子

【行事名】 「海に親しむ会」 (主催:南知多町立師崎小学校)

【日時】 2014年6月26日(木) 09:00~12:30 大潮(師崎港干潮12:04)

【場所】 南知多町師崎羽豆岬海岸

【天気】 晴れ

【担当】 森田博

【参加者】 児童93名(6班顧問6名)

(スタッフ:森田博、中井康、森田琢、大矢美+県水産(漁業生産)研究所職員4名)

【内容】

「海に親しむ会」は?地域の海辺に棲む生き物や自然、漁業について、学んだり親しんだりする活動を通して、環境問題やその保全について考え、自然豊かな郷土を愛する心豊かな児童を育てる。?なかよし班での活動を通して、学年の枠を越えた人間関係を育てる。を目的にしています。

朝から海風が涼しく快適な観察会になることを予感させてくれました。沿岸の山際にはハマナデシコ、ネムノキ、タイトゴメ等が開花していました。

生活・総合の時間授業「海の観察会」は10時45分頃から開会、11時ごろから12時まで磯浜での生きもの採集と観察を実施しました。波打ち際には沢山のワカメ(雌株)とヒジキが育ち海の豊かさを感じさせてくれます。潮だまりではイソガニ、ムラサキウニ、ハオコゼなどの小魚、マダコが多く採取でき子ども達の注目を集めていました。いずれも挟まれたり刺されたり咬まれたりする生きものだったので、素手で触る子どもは少なかった様です。短時間の観察会でしたが、最後に児童代表からお礼の言葉を頂き閉会しました。

(記・森田琢)

【観察した生き物】

◎海藻

ワカメ(雌株)、ヒジキ、ミル、タンバノリ、イロロ、イシゲ、ピリヒバ

◎魚など

ナベカ、メジナ、ハオコゼ、カゴカキダイ、カタクチイワシ

◎貝、タコなど

ヒザラガイ、ウスヒザラガイ、スガイ、イボニシ、コシダカガンガラ、イシダタミ、マツバガイ、ベッコウザラガイ、カラマツガイ、マガキ、アメフラシ、マダコ、クロシタナシウミウシ

◎カニ、エビ、ヤドカリなど

イソガニ、ヒライソガニ、ヤワラガニ(?), ケアシホンヤドカリ
クロフジツボ、カメノテ、フナムシ

◎ウニ、ナマコ、ヒトデ

マナマコ、ムラサキウニ、バフンウニ、サンショウウニ、イトマキヒトデ、クモヒトデ

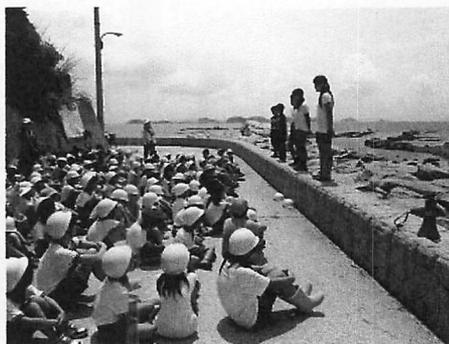
◎クラゲ、イソギンチャク

ミズクラゲ
ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク

◎その他 ゴカイの仲間

マンジュウボヤ

【観察会の様子】



【左】開会の挨拶



【右】危険な生きもの、注意事項

【行事名】 野崎川の生きもの観察 ●寺本台子供会

【日時】 2014年8月17日(日) 9:00~10:30

【場所】 知多市野崎川

【天気】 曇り

【担当】 金内、平田

【参加者】 (一般) こども9名、おとな10名
(指導員: 浅井一、金内、中井康、平田)

【内容】

まるで梅雨に逆戻りしたような空模様のお盆だった。昨夜から京都や高山では記録的な豪雨とのこと。ここ知多は“日除け・雨除け”いずれも不要といったところ。農道に広げたブルーシートが基地。主催者のあいさつが終わるのも待ちきれない様子で子供たちは川へ降りた。最初は今一つ要領を得ないようだったが、名人たちを見習って次第に腕を上げ、歓声が上がる。獲物の種類は比較的多かったようです。愛知用水を経由して紛れ込んだと思われるカマキリ(アユカケ)など、金内さんから生きもの名前や特長の説明を聞いた後、解散した。(記・平田)

【観察した生き物】

◎魚

メダカ、タイリクバナタナゴ、ギンブナ、カマキリ(アユカケ)、オイカワ、マハゼ、ナマズ、ドジョウ

◎甲殻類

テナガエビ、モクズガニ、アメリカザリガニ、ミゾレヌマエビ

◎貝

オオタニシ、カワニナ、マシジミ、マルタニシ

◎昆虫

アメンボ、シオカラトンボのヤゴ、ヒメガムシ

◎その他

ニホンイシガメ、オタマジャクシ

【観察会の様子】



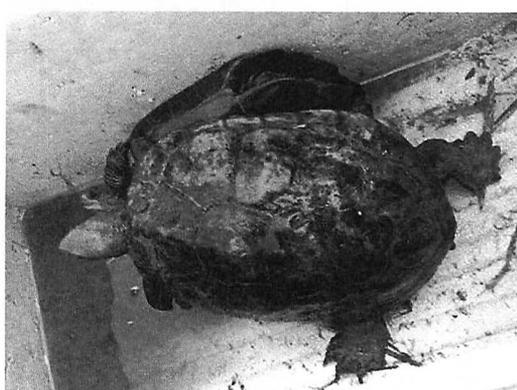
【左】 観察風景



【右】 観察風景



【左】 最後の分かち合い



【右】 在来種のイシガメ

【観察会続き】

【行事名】 東海市エコスクール「公園の生きもの観察会」 主催 東山保育園

【日時】 2014年10月11日(土) 09:15～11:00

【場所】 集合:東山保育園P、会場:東海上野台公園

【天気】 曇り

【担当】 平松、吉房

【参加者】 園児・兄弟姉妹 13名、保護者11名、保育士5名
(指導員5名:平松俊、吉房、畠、岩崎光、森田琢)

【内容】

保育園で、平松さんが園児に注意事項を説明してから、上野台公園へ向かった。エノコログサが群生している土手での昆虫採集は、初めのうちはもじもじしていた園児であるが、数人がバッタやキチョウを捕らえると、我先にと夢中になって生き物を追いかけ回し、あっという間にエノコログサを踏み倒してしまった。植物には目もくれず虫を追い回していた。参加している子の親御さんも生き物好きな方ばかりで大変盛り上がった。芝生の上ではコオロギを見つけ、手で捕らえるのが上手になり、しばらくするとタモの扱いにも慣れ、楽しそうにタモを振り回していた。どの子も一所懸命で、観察会が終わり、分かち合いの時も大変熱心に虫の観察をしていて気持ちのよい観察会だった。

(記・吉房)

【観察した生き物】

◎植物(草本)

イネ科:チガヤ、エノコログサ、キンエノコロ、ススキ、セイバンモロコシ、イヌビエ、ナルコビエ、メヒシバ、オヒシバ、ヨシ

キク科:アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウ、キクイモ、セイヨウタンポポ

マメ科:アレチヌスビトハギ、クズ

ナス科:イヌホオズキ

スイレン科:コウホネ

◎植物(木本)

ブナ科:コナラ、バラ科:シャリンバイ、クスノキ科:クスノキ、モクセイ科:ネズミモチ、モッコク科:モッコク、アジサイ科:アジサイ、マツ科:アカマツ

◎動物(昆虫)

バッタ目:ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、ヒナバッタ、クルマバッタモドキ、オンブバッタ、コバネイナゴ、クビキリギス、ホシササキリ、オカメコオロギ、エンマコロギ

トンボ目:アキアカネ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ギンヤンマ、アジイトトンボ

チョウ目:キチョウ、アサギマダラ、ホタルガ、スズメガの幼虫、イラガの幼虫

カメムシ目:ヒメカメノコ、アメンボウ、カメムシの仲間

コウチュウ目:ナナホシテントウ

ハチ目:ニホンミツバチ

ハエ目:ヒトスジシマカ

◎動物(鳥類)

スズメ、ヒヨドリ、メジロ、キジバト、コサメビタキ、ドバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス

◎動物(その他)

ダンゴムシ、ゲジゲジ、コガネグモ、カナヘビ、ミシシッピアカミミガメ、

【観察会の様子】



【左】草原にはバッタが沢山いました



【右】カキツバタ園の渡り橋と山田池

調査活動(2014年) 東海市緑陽公園予定地の昆虫

【8】東海市緑陽公園予定地の生き物調査(2014年調査) …担当:平松俊

1. 調査目的

東海市名和町六反歩に公園整備事業が計画されている緑陽公園予定地の生き物調査を行い、工事前の基礎資料を作成する。

<追記>

生き物の対象:昆虫

「絶滅危惧種」は「情報不足」を含めすべて追跡調査対象とする。

知多半島内における希少種も追跡調査対象とする。希少かどうかは文献「愛知の昆虫」を参考にして決定する。

大曾根氏の調査で見つかった希少種(トウキョウヒメハンミョウ、コムラサキ、ミズイロオナガシジミ、ナミヒカゲ)については工事進行に伴う経年追跡調査をする。

2. 調査計画

- ・1回目 4月27日(日) 13:30~
- ・2回目 7月13日(日) 13:30~ (※雨天のため7/15に延期)
- ・3回目 10月11日(土) 13:30~

3. 調査結果

○1回目 13:30~15:50(晴れ)

- ・参加者 平松俊、南川、浅井一、門脇
- ・コース 駐車場→東の高台→駐車場→名和新池北西→新池北東→新池東のため池→ため池東の小池→駐車場
- ・調査記録 [ここ←クリック](#) (PDFファイル)
- ・特記事項 ヒゲナガハナノミ (知多半島ではあまり記録がない)
クロヒメクビボソジョウカイ (知多半島の記録が少ない)
- ・調査地の様子写真及び撮った昆虫写真 [ここ←クリック](#)

○2回目 13:20~16:40(晴れ)

- ・参加者 平松俊、降幡
- ・コース 駐車場→東の高台→駐車場→名和新池北西→新池北東→新池東のため池→駐車場
- ・調査記録 [ここ←クリック](#) (PDFファイル)
- ・特記事項 ムネアカチビナカボソタマムシ (知多半島初記録?)
ナナフシモドキ (知多半島では少ない)
- ・撮った昆虫写真 [ここ←クリック](#)

○3回目 13:30~16:00(晴れ)

- ・参加者 平松俊、浅井一、門脇
- ・コース 駐車場→東の高台→駐車場→名和新池の北西→新池の北東→新池東のため池→ため池北東の農道→駐車場
- ・調査記録 [ここ←クリック](#) (PDFファイル)
- ・特記事項 ホソミオツネトンボ (知多半島ではあまり見ない)
- ・撮った昆虫写真 [ここ←クリック](#)

- 1~3回の結果一覧 [ここ←クリック](#) (HTMLファイル)

2014年 緑陽公園予定地昆虫調査結果

目	科	種	4/27	7/15	10/11
チョウ	シジミチョウ	ヤマトシジミ	○	○	○
		ツバメシジミ		○	
		ウラナミシジミ			○
		ベニシジミ	○		
		ウラギンシジミ			○
	シロチョウ	モンシロチョウ	○	○	
		モンキチョウ	○		
		キチョウ	○		○
	アゲハチョウ	ナミアゲハ	○	○	○
		キアゲハ	○	○	
		クロアゲハ	○	○	
		ナガサキアゲハ		○	
		アオスジアゲハ		○	
	タテハチョウ	キタテハ	○	○	
		ヒメアカタテハ		○	
		ルリタテハ	○		○
		ゴマダラチョウ		○	
	マダラチョウ	アサギマダラ		○	○
	ジャノメチョウ	ヒメジャノメ			○
	セセリチョウ	クロコノマチョウ	○		
イチモンジセセリ		○		○	
チャバネセセリ				○	
(ガ)	メイガ	シロオビノメイガ			○
		マメノメイガ			○
		メイガ類		○	
	ヒゲナガガ	ヒゲナガガ類	○		
スズメガ	ホシホウジャク			○	
トンボ	アオイトトンボ	ホソミオツネイトンボ			○
	イトトンボ	アジアイトトンボ	○		○
		シオカラトンボ	○	○	○
		オオシオカラトンボ		○	
		アキアカネ?			○
		ノシメトンボ?			○
		コシアキトンボ		○	
		ウスバキトンボ		○	
		チョウトンボ		○	
	サナエトンボ	ウチワヤンマ		○	
ヤンマ	ギンヤンマ		○		
アミメカゲロウ	クサカゲロウ類	○	○		
	ミドリヒメカゲロウ			○	
コウチュウ	ゴミムシ	セアカヒラタゴミムシ?			○
	ガムシ	ヒメガムシ			○
	コガネムシ	コアオハナムグリ			○
		ヒラタハナムグリ	○		
		カナブン		○	
		ヒゲナガハナノミ	○		
	タマムシ	タマムシ		○	
		ムネアカチビナカボソタマムシ		○	
	コメツキムシ	クロツヤクシコメツキ?	○		
		コメツキムシ類	○		
	テントウムシ	ナミテントウ	○		
		ナナホシテントウ	○		
		キイロテントウ	○		○
		ヒメカメノコテントウ	○		
	カミキリムシ	タケトラカミキリ		○	
	ハムシ	アオバネサルハムシ?		○	
	クロウリハムシ	○			
	クロヒメクビボソジョウカイ?	○			
	ショウリョウバッタ		○		

バッタ	バッタ	オンブバッタ			○
		ヒナバッタ		○	○
		ツチイナゴ	○		○
		コバネイナゴ			○
	コオロギ	エンマコオロギ			○
		ミツカドコオロギ			○
		オカメコオロギ			○
		カネタタキ			○
	キリギリス	キリギリス (成、幼)	○	○	
		ウマオイ類			○
		クビキリギス	○		○
		ホシササキリ		○	○
	カメムシ	カメムシ	アオモンツノカメムシ		
マルカメムシ			○		○
ツヤアオカメムシ			○		
ホソハリカメムシ				○	○
ホソヘリカメムシ			○		
クモヘリカメムシ					○
ツマキヘリカメムシ			○		
ヒメジュウジナガカメムシ					○
イトカメムシ					○
ビロードサシガメ					○
セミ		クマゼミ		○	
ハゴロモ		アオバハゴロモ		○	○
ヒシウンカ		ヨスジヒシウンカ		○	
アメンボ	アメンボ類	○			
カイガラムシ	オオワラジカイガラムシ	○			
ハエ	ガガンボ	ガガンボ類	○		
	カ	ヤブカ類		○	○
	アブ	シオヤアブ		○	
	ツリアブ	クロバネツリアブ		○	
	ハナアブ	シマハナアブ	○		
		ナガヒメヒラタアブ		○	○
	ハエ	オオクロバエ	○		
	ハエ類	○			
ハチ	ハバチ	セグロカブラハバチ	○		
	ツチバチ	ヒメハラナガツチバチ		○	
		キオビツチバチ		○	
	スズメバチ	コガタスズメバチ	○	○	
		ヒメスズメバチ			○
		フタモンアシナガバチ		○	
		アシナガバチ類	○		
	アナバチ	オオフタオビドロバチ		○	
		ベッコウバチ		○	
		ジガバチ		○	
	ハナバチ	オオハキリバチ		○	
		クマバチ		○	
		セイヨウミツバチ			○
		ニホンミツバチ			○
ハナバチ類		○			
アリ	クロヤマアリ	○	○	○	
	アシナガアリ?		○		
その他	カマキリ	オオカマキリ			○
		ハラビロカマキリ			○
	ナナフシ	ナナフシモドキ		○	
	ゴキブリ	モリチャバネゴキブリ		○	

確認種類数→

44

51

51

2014年 (1月~12月) 掲示板

知多自然観察会のホームページには「掲示板」があります。誰でも情報や意見を投稿出来ます。

しかしながら、投稿者は極めて少なく、掲示板の存在価値が危ぶまれています。

写真の掲載方法が若干ハードルが高いかもしれませんが、このページをご覧の方は、文章(文字)だけでも嬉しいですので、是非とも、ご投稿下さい。

以下は2014年中の掲載分です。

朽ち木の中の〇〇虫

masami (60代後半) @半田市

1/23(木) 00:48:11 No.20140123231508 [返信](#) [削除](#)

2014.1.20 撮影(写真クリック→大サイズ)



写真は、とある場所でコナラの朽ち木を割って見たら住んでいた4cmぐらいの虫です。(3枚は同一個体の写真)

ネット上ではウバタマコメツキの幼虫が一番似ていましたが、住み家が違うようで同定できないままです。

朽ち木を今まで割ってきましたがこの虫は私には初めてでした。

ご存知の方みえましたら教えて下さい。



1. masami 1/23(木) 23:15:08 No.20140123231508-1 [削除](#)

masami(投稿者本人)です。

本日(2014.1.23) 昆虫に詳しい方から「コナラの朽ち木」は少しおかしいが「ウバタマコメツキ」ですという連絡を受けました。

曇気楼が！

大矢美紀 (50代後半) @名古屋市

2/9(日) 18:48:23 No.20140209184823 [返信](#) [削除](#)

2月6日、南知多の杉という魚料理屋さんから佐久島方面を見ると、いつもの島二つが、しかも浮き上がった状態で見えました。とても寒い日でしたので、空気と海



自然観察と液状化

おおはし

2/22(土) 14:53:36 No.20140222145336 返信 削除

知多の自然をみて、半島の丘陵部に湿地にはえるハンノキやイノキが自生する理由が、地下水位の高さであることに関係するようだ。東南海地震が発生すると津波が気になるが、液状化も心配。地下水位が高ければ、特に心配。では半島で液状化の心配がもっとも少ないのが、師崎層群の南知多だろう。次に安全と思われるのが、常滑層の常滑市長峰から千代ヶ丘あたりだろうか。液状化が心配なのは、これらの地区以外となるのだろうか。このことは造り酒屋がある場所あるいは木綿をさらす晒し屋などの地場産業があったところともいうのかな。木や地層そして地場産業を観察すると、液状化がみえてくるようだ。ところで、液状化の化石である豊浜小佐の砂岩脈を昭和40年代にモルタルで覆ってしまったが、モルタルを剥がしてジオパークの観光資源にしてほしいものだ。

ヒサカキの花のかおりと半田

おおはし

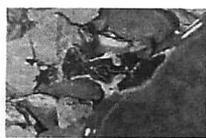
3/21(金) 09:54:14 No.20140321095414 返信 削除

新美南吉記念館童話の森は、今ヒサカキの花のガス臭いにおいでいっぱい。当初南吉は「ごんぎつね」の書き出しで、いささきの茂った洞穴と書き始めましたが、赤い鳥の鈴木三重吉にいささぎ(ヒサカキ)は分かりにくいので、しだの茂った洞穴と添削されて、名作ごんぎつねがうまれました。さて、同じ半田では少し前に、宮崎監督の新作アニメに半田の赤レンガ建物のカブトビールの看板がアニメに出てくることで話題となりました。トロの森を愛する宮崎駿監督は、岩波新書「本へのとびら」のなかで、この鈴木三重吉について複数回取り上げています。この新書によると、監督は学生時代に児童文学研究会にはいていたようで、童話に関心が深かったようです。ヒサカキの香りから、半田の赤レンガと南吉と監督とつながっているようで、楽しくなりました。

見たことないウミウシ発見！

大矢美紀 (50代後半) @名古屋市

5/4(日) 12:18:21 No.20140504121821 返信 削除



南知多大井で潮干狩り中に体長cm弱の小さくて黒いウミウシに遭遇！初めて見たウミウシでした。どなたか名前をご存知の方いらしたら、教えてください。

物足りなくて

とりやさん (40代後半) @阿久比町

6/15(日) 23:03:47 No.20140717192127 返信 削除



福山川の観察会の後、物足りなくて自宅近くの愛知用水路に行ってきました。魚は何ですか？ナマズは2cmテナガエビは15cmくらいでした。



1. masami 7/17(木) 19:21:27 No.20140717192127-1 削除

ハゼの名前は「スミウキゴリ」

しっぽ(尾びれ)の白黒の縞模様で判断しました

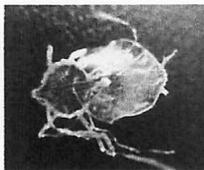
チリメンモンスター

大矢 (50代後半) @名古屋市

7/17(木) 20:52:01 No.20140717205201 返信 削除



本来はイワシの稚魚の集まりであるチリメンの中には、ときどき珍しい生きものの赤ちゃんが混じっています。きょう見つけたのは、セミエビの仲間、イソギンポの仲間、ダルマガレイの仲間の赤ちゃんです。



この虫何ですか？

とりやさん (40代後半) @阿久比町

5/23(金) 19:01:56 No.20140718082146 返信 削除





武豊のお客さんの家の庭木にびっしりついていました。これは何ですか？

1. masami 7/17(木) 19:29:11 No.20140718082146-1 削除

オオワラジカイガラムシと思われます(※写真が拡大しないので…)

<参照>… ↓

<http://chitakan.com/kansatu2/handa130420/index.html>

2. とりやさん (40代後半) @阿久比町 7/18(金) 08:21:46 No.20140718082146-2 削除
アカホシテントウでした

このきのこは何ですか？

とりやさん (50代前半) @阿久比町 11/9(日) 11:22:37 No.20141109112237 返信 削除

ユキちゃんの小屋入口に生えていました。図鑑見てもわかりません。



「松ぼっくりがいっぱい」について

吉川 洋行

11/25(火) 21:22:39 No.20150104184648 返信 削除

先日 masami 様のメールで知った「松ぼっくりがいっぱい」の黒松？の画像ですが、多分「マツのテングス病(天狗巣病)の可能性があると思われます。松の雌花は枝先に付くこと、帯化していないこと(帯化すると数百の松ぼっくりをつける可能性があります。)などからそう考えます。通常クロマツの雌花は枝先に2~3個つきますが、多くても7~8個くらいまでのようです。画像からはもっと多そうなこと、周辺にも同じような木がありそうなことからそう考えました。

1. masami (60代後半) @半田市 1/4(日) 18:46:48 No.20150104184648-1 削除

松の天狗巣病とは大変有り難いご指摘でした。

ただし、「松の天狗巣病」での検索では“松ぼっくりがいっぱい”の画像はヒットしませんでした。

コウノトリ 個体番号J0041 (根拠：下記に掲載)

知多市内で飛来を確認 (知多半島へのコウノトリの飛来確認は初めて!?)

先日 (2014年3月31日) 知多市の大興寺工業団地の西側で足環が左右に付いたコウノトリによく似た鳥を見ました。嘴の色が全体に黒でないが羽の色など姿等はよく似ていました (下記委掲載写真参照)。(2014. 4. 3記：南川、写真提供も)

撮影：2014. 3. 31

※写真をクリック→ビッグサイズの写真



【左】コウノトリではないのか！ 胸はドキドキ…
(足環カタログ参照)

【右】足環で個体が識別できる

以下は神野氏からの情報提供

<2014. 4. 4>

写真を見ると姿からコウノトリです。足環を拡大してみると右足は黒の長短二個・左足は上から黄色・青(緑)・黄色です。コウノトリの放鳥記録から見ると [J0041メス2011・05・17生まれか左の真ん中が緑だと「J0046オス2911・5・16生まれ」のようです。なお愛知県の観察記録を野鳥の会愛知県支部に確認しましたら今日現在支部には連絡が入っていないとのことです。コウノトリの放鳥確認記録を見ると東海地方ではまだ確認されていないようです。取り急ぎお知らせします。

<2014. 4. 5>

豊岡で取りまとめているコウノトリの目撃情報の中に安否情報欄があり全個体の様子に乗せています。それによるとJ0041は3月6日に千葉県香取郡多古町で確認されています。J0046は豊岡からほとんど移動しておりませんのでおそらくこの個体はJ0041と思われます。昨日(4日)美浜へ行く道中田んぼの有るところをあちこちうろうろしながら走りましたが見つかりませんでした。他の目撃情報は無いようです。コウノトリ資料を取りまとめましたのでご覧ください。まだ近くにいてくれることを期待しています。

<2014. 4. 6>

本日朝、友人が富貴の上空を上野間方面へ飛ぶコウノトリを見たという連絡がありました。J0041がまだ知多半島内にいるのかもしれない。

【足環カタログ - 兵庫県立コウノトリの郷公園】

下記画像(カタログ)はwww.stork.u-hyogo.ac.jp/reintr/reintr_file/ind_identif.pdfからのコピーです。(ただし、上記写真にかかわる足環の部分のみコピー)

足環カタログ

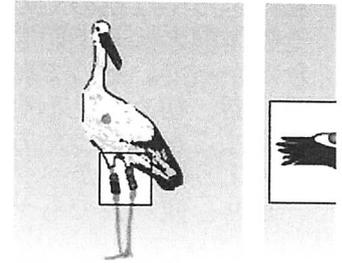
—自由に空を飛ぶコウノトリたち—

足環と羽の印

放鳥コウノトリと、野外で巣立ちしたコウノトリには、それぞれに個体番号と、異なる組み合わせの色の足環をつけています。

またその中には、遠くからでもわかりやすいように羽に印をつけた個体がありますが、この印は数ヶ月で色落ちする可能性があります。

皆さんの近くにコウノトリが訪れたときには、どの個体がやってきたのか確認してみてください。



足環

■ : 死亡または飼育下に收容した個体

親鳥 J0405(オス)、野生個体(メス)
2010、2011、2013年 郷公園内仮設人工巣塔

J0019 2010.04.19生 オス 2011.04.17 死亡 2010.06.25 巣立ち	J0021 2010.04.17生 オス 2010.06.23 巣立ち	J0041 2011.05.17生 メス 2011.07.20 巣立ち	J0042 2011.05.17生 メス 2011.07.20 巣立ち	J0076 2013.04.23生 メス 2013.06.29 巣立ち	J0077 2013.04.23生 メス 2013.06.28 巣立ち	J0078 2013.04.23生 メス 2013.06.28 巣立ち
---	--	--	--	--	--	--

親鳥 J0275(オス)、J0228(メス)
2007、2008、2009、2010、2011、2013年 百合地(ゆるし)地区人工巣塔

J0003 2007.05.19生 メス 2007.07.31 巣立ち	J0004 2008.03.20生 メス 2008.06.10 巣立ち	J0005 2008.03.20生 メス 2009.04.06 死亡 2008.06.04 巣立ち	J0012 2009.03.11生 メス 2009.05.24 巣立ち	J0025 2010.06.21生 オス 2010.09.29 巣立ち	J0026 2010.06.21生 オス 2010.09.13 死亡 2010.09.29 巣立ち	J00 2010.06.21生 オス 2010.09.13 死亡 2010.09.29 巣立ち
J0045 2011.07.16生 オス 2012.04.09 死亡 2011.09.24 巣立ち	J0046 2011.07.16生 オス 2011.09.24 巣立ち	J0062 2013.04.09生 オス 2013.06.22 巣立ち	J0063 2013.04.09生 メス 2013.07.01 巣立ち	J0064 2013.04.09生 メス 2013.06.16 巣立ち		

なお、4/7に新聞に掲載された…↓
クリック→拡大

<p>2014.7(月) 中日新聞 特別 (長多摩産産) 中</p>	<h3>コウノトリ 知多飛来</h3> <p>西川さん撮影 兵庫で放鳥の雄が</p> <p>知多自然観察会の密め。三三三二一日川陸美さんなど、知多市の田んぼで見つけた。コウノトリの人工飼育や放鳥に取り組み、兵庫県立コウノトリの</p>	<p>郷公園(郷公園)に生まれ、二〇一二年九月に同公園が放鳥した雄の可能性が強いという。西川さんは「いつもより早く家を出て、仕事に向かう途中で見つけた。驚くべき発見だ。美しい鳥がいると、シャッターを切った。</p>	<p>撮影を始めたのは、知多市。コウノトリはかつて日本各地に生息したが、野生種は一九七一年(昭和四十六)年に絶滅。同公園が繁殖をせよと放鳥した。今回見つけたのは、羽を保持する二足環に</p>	<p>た。同公園では「田んぼでカエルや魚を養育する。鳴き声の響きや、見つけた様子」を撮影する。(西川さん)</p> <p>飛来し、田んぼでコウノトリ、知多市産で(西川さん撮影)</p>	
------------------------------------	---	---	---	--	--

亀の甲羅表面の薄皮を剥がしたら…

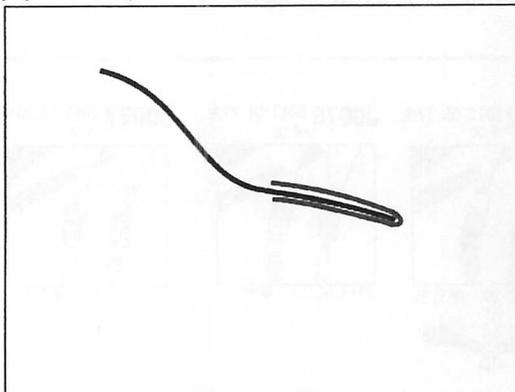
私にとっては初めての体験だったので、いつもの通り、ここに連絡します。
その体験とは…下記写真のカメ（ミシシippアカミミガメ）の「甲羅の端(はし)」の薄皮がめくれかかっていたので剥がしたら、その薄皮の形が想定外だったこと。

早い話、初めて見るその薄皮の形にビックリしたということです。（※ その場にいた指導員の中にはご存知だった方もいましたが…。）

どのような説明がベターなのか分からないので下記写真をご覧ください。そして、是非、観察会でもやってください。

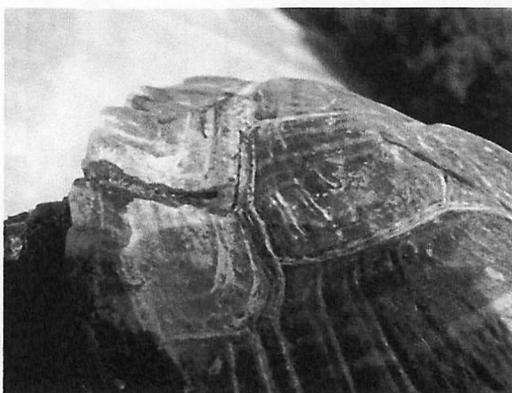
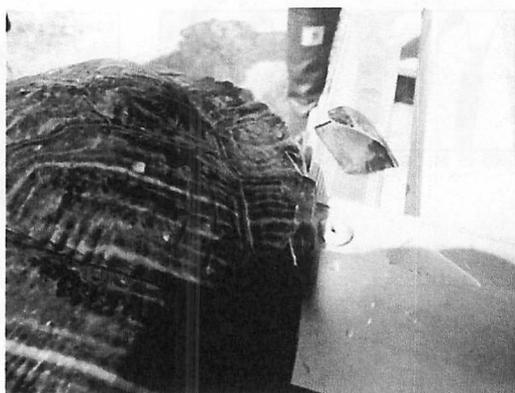
撮影：2014. 9. 6 美浜-布土川観察会 採集生物説明会場にて

写真をクリック→ビッグサイズ



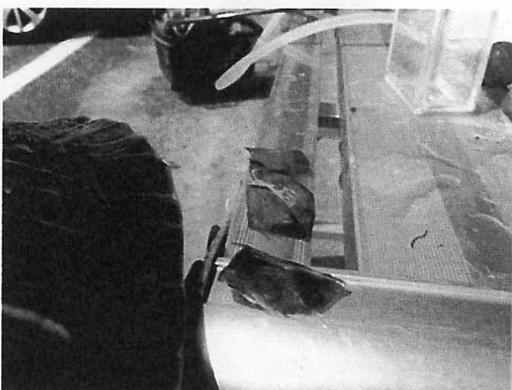
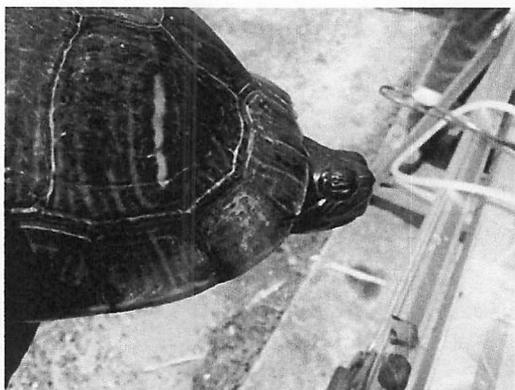
【左】 いちばん端の薄皮は赤線のように一枚の皮になっていた

【右】 この亀が何枚も剥がされた亀



【左】 端の薄皮の形

【右】 乾燥にあわせて剥がれる準備ができた薄皮がめくれてくる



【左】 剥がれ跡：柔らかくはない（すでに堅い）

【右】 5～6箇所、薄皮を剥がした

※今後の観察会で、この薄皮“剥がし”ができれば、（は虫類の）カメ、トカゲ、ヘビの脱皮現象が説明できる

2014年11月4日、天気が良かったので渥美半島先端付近の「抵抗性クロマツ」植栽地を見に行きました。
※松食い虫の被害樹は、ホンのパラパラしか見えなかった（ほとんど無かった）

なお、ここで何とも不思議な“1本の枝に松ぼっくりが鈴なり”を所々で見ましたのでこのことを紹介します。

※ネット上で調べたが検索語句がよくなかったのか同様な写真や説明にヒットなしだった
(2014. 11. 23 記：榊原正躬)

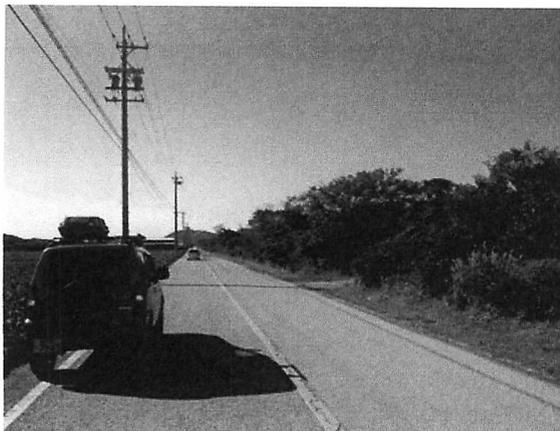
<アップ後の追記>

アップ後すぐ(11/25)に会員のHY氏から掲示板経由で「松の天狗巣病からくる症状ではないか…」というご指摘がありました。

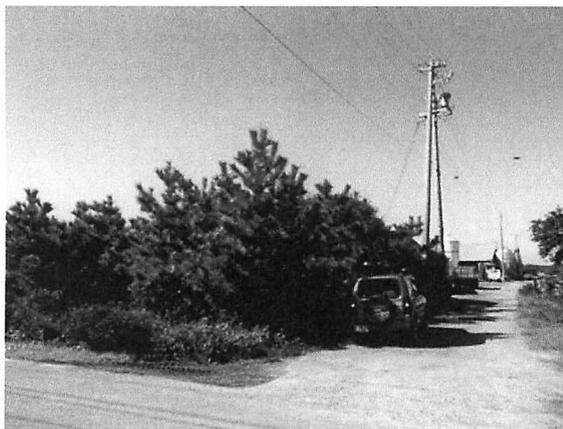
そこで、松の天狗巣病で検索したところ、ほぼ、あてはまりそうな気がしましたが、同じ状態の画像にヒットしなかったので、今後さらにネット探索をしようと思っています。

※ 写真クリック→写真のビッグサイズ

●以下は平成17年度に抵抗性クロマツを植栽した地域でのこと



【左】車の右側の保安林に平成17年度「抵抗性クロマツ」を植栽 【右】〇〇号地を示す標識は全く読めない



【左】車の左のマツを見ていたら… 【右】このような松ぼっくりが鈴なりの枝があった



【上の2枚】 同上の場所で撮る。以前、一色の魚広場の海岸の植林でこれと同じモノを見たことがある



【左】 松食い虫の被害樹が切られていた。近づいて見ると

【右】 松ぼっくりの鈴なりがあった



【上の1枚】 1号地から見ていったが、最後のブロックの標識は読めた
[17-31]…左が植栽年度(平成17年度), 右が号地番号(31号地)

●以下は平成18年度に抵抗性クロマツを植栽した地域でのこと



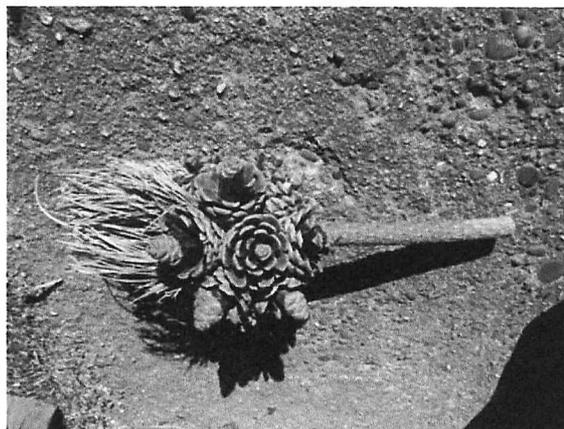
【左】車の左の保安林に平成18年度「抵抗性クロマツ」を植栽した
った

【右】左の被害樹を見るとここにもあ

●以下は松ぼっくりのたくさん付いた枝。平成22年4月6日能登半島の海岸道路にて撮ったもの



【上の2枚】同一の枝。2012年4月6日能登半島の海岸道路にて撮影 ※これは普通の付き方



同上場所で採った枝。松かさの数は14ヶ付いている。2014年11月23日撮影
※知多半島内では枝先に松ぼっくり7ヶ付いているのがあったがそれが最多

編集後記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度の年報に反映させていただきます。

さて、今回も編集面では特別大きな変化はありません。古くから年報に携わってみえた方のお気づきのことと存じますが、この数年、会員へ今回の“年報に掲載するための記事”やイラストなどを募集していません。従って内容は編集にあたって…に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。

その代わりホームページの「掲示板」「会員個人の発表」のページはできるだけ投稿どおりに掲載するように心がけました。なお、掲示板や会員個人の発表のページに投稿したいが“やり方”が分からないという方はワードやエクセルで原稿を作りそれを私（榊原正）へ添付で送信していただければそれをホームページへアップしますので遠慮無く送信して下さい。

いずれにしても今回も業者の制作ですので見栄えはOKです。ただし、内容含め構成については今後とも要検討です。
(年報担当：榊原正躬)



平成27年1月8日 作成
連絡先 知多自然観察会
代表 南川陸夫
r-minami@ktf.biglobe.ne.jp

